

十四名集會ノ席ニ臨ミ從來郡參事會員トシテ東郷村ノ爲メ盡力シタルコトアリ今回更ニ當選スルヲ得ハ福瀨村ヨリ岩脇村幸協ニ通スル郡道ヲ開通シ以テ交通ノ便ヲ計ルヘキニ付キ今回ノ選舉ニハ自己ニ投票シ吳ルヘキ旨ヲ述ヘテ同人等ヲ誘導シ被告丑松以下十四名ハ其誘導ニ應シ被告九市ニ投票スヘキコトヲ誓約シタリトノ公訴事實ヲ認ムヘキ證據不十分ナリト說示シナカラ其後段ニ於テ一件記録及被告九市ノ供述ニ依レハ被告九市ハ本論旨ノ冒頭ニ援引セルト同一ナル道路問題遂行ニ盡力スヘキ意見ヲ相被告等十四名ニ發表シテ其贊同ヲ求メタルコトハ之ヲ認メ得ヘキモ其所爲罪ト爲ラサルカ故ニ被告丑松以下十四名カ被告九市ノ該意見ニ贊同ヲ表シ同人ニ投票スヘキコトヲ誓約シタリトスルモ之亦罪ト爲ラサル旨ヲ說明セリ然レトモ選舉ニ關シ一般ノ交通問題ニ付キ意見ヲ發表スルハ格別原判旨後段ノ如ク主トシテ特定ノ市町村ニ關係アル特定ノ里道ヲ郡道ト爲スコトニ付キ縱令從來其意見ニ依リ事實上盡力シタル結果カ公ニ認メラレテ其道路ノ開通カ遂行セラレントスル狀況ニアリトスルモ苟モ選舉ノ際其市町村ニ於ケル選舉人ニ對シ自己ヲ選舉セハ其問題ニ付キ

尙盡力スヘキニ付キ自己ニ投票アリタキ旨ヲ以テ其贊同ヲ求ムルハ之即チ郡制並ニ市制町村制ノ準用ニ係ル衆議院議員選舉法第八十七條第一項第二號ニ所謂選舉人ノ關係アル市町村ニ對スル利害關係ヲ利用シテ選舉人ヲ誘導シタルモノニ外ナラスシテ其意見ヲ聽キテ之ヲ選舉センコトヲ約セルハ即チ其誘導ニ應シタルモノト謂ハサルヲ得ス

○選舉人ノ屬スル組合ニ對スル債務辨濟ノ斡旋

町會議員選舉罰則違犯事件(大正六(れ)第四三〇九號
大正七(れ)二五、第一刑事部判決)

原判旨ニ依レハ被告軍太郎以外ノ各被告ハ共謀シ姪濱鑛業株式會社對姪濱浦漁業組合ノ補償金債務辨濟ニ關スル紛爭ヲ調停シ前示會社ヲシテ速ニ其辨濟ヲ遂行セシムルコトヲ名トシ同組合員ニシテ町會議員選舉人タル西島半次郎外十數名ニ對シ組合所屬選舉人ノ一部ノ投票ヲ被告淳秀ノ爲メニ分與センコトヲ勸誘シタルモノニシテ其調停ニ付テハ同組合ニ於テ多少讓歩スル所アリタルモ延滞シタル前示債務ノ辨濟

ニ依リ同組合ノ享受スル利益ノ大ナルコト判文上洵ニ明瞭ナル所ナルヲ以テ該債務ノ辨濟ヲ容易ニ受クルト否トハ前示組合ノ利害ニ關スルコト論ヲ俟タス隨テ原審カ前示事實ヲ衆議院議員選舉法第八十七條第三號ニ所謂選舉ニ關シ選舉人ノ關係セル組合ノ利害關係ヲ利用シトアルニ該當スルモノトナシタルハ正當ニシテ尙所論判示事實ハ原判決ニ援用セル各證據ヲ綜合シテ之ヲ認定スルヲ得ヘキヲ以テ論旨ハ其理由ナキモノトス

○役場移轉問題ノ利用

村會議員選舉罰則違犯事件(大正六(九)第二六八〇號)
(大正六、一、一六、第一刑事部判決)

原判決判示事實ニヨレハ被告等ノ居村ハ地勢上東西兩部ニ分レ從來村役場ノ地位西部ニ偏シ東部住民ハ常ニ不便ヲ感シ居リタルヨリ東部ニ屬スル被告康次ハ村役場ヲ西部地域ノ一部ニシテ東西兩部ノ中間ニ位セル三角區ニ移轉スルノ議案ヲ提出スル旨ヲ以テ三角區ノ有權者タル山本寅松及被告久太郎ヲ誘導シタリト云フニ在ルヲ以

テ所謂選舉ニ關シ利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル所爲ナルコト判文上自カラ明カニシテ所論法條ニ違犯スル行爲タルコト勿論ナレハ論旨ハ理由ナシ

○道路築港鐵道問題ノ利用

衆議院議員選舉法違犯事件(大正六(九)第一四〇一號)
(大正六、八、一、第三刑事部判決)

按スルニ道路築港鐵道問題ノ如キ事項ト雖モ其解決ノ如何ニ依リ一定ノ選舉人又ハ其關係アル市町村等ニ一般利害ノ外尙ホ特別ノ利害ヲ及ホスコトナシトセス而シテ特殊ノ利害ヲ市町村ニ及ホスヘキ場合ニ其利害關係ヲ利用シテ選舉人ヲ誘導スルニ於テハ衆議院議員選舉法第八十七條第一項第三號ノ罪ヲ構成スヘキモノトス原判示事實ニ依レハ被告ハ新庄村ニ於テハ演說ニ依リ新庄村及ヒ其附近部落ニ特殊ノ利害關係アル中邊路縣道一部變更及ヒツブリ坂切下事業ノ解決實行ヲ容易ナラシムヘキ旨ヲ以テ同村地方ノ選舉人ニ對シ中村啓次郎ニ投票スルコトヲ誘導シ又田邊町ニ於テ發行セル判示新聞紙ニハ特ニ同町其他附近ノ判示部落ニ利害關係アルツブリ山切

下事業中邊路縣道一部變更田邊灣ノ築港和歌山ヨリ田邊ニ至ル鐵道諸問題ノ解決ヲ容易ナラシムヘキ希望アリトナシ以テ中村啓次郎ニ投票シ吳レタキ旨ノ記事ヲ掲載發行シテ田邊町新庄村其他判示ノ附近部落内ノ多數ノ選舉人ヲ誘導シタルモノナルヲ以テ之ヲ所論法條ニ問擬シタル原判決ニ何等ノ不法アルコトナシ

衆議院議員選舉法違反事件(大正六、六、二、第三刑事部判決)第一〇七七號

原判示ニ依レハ所論寄井以西ノ道路ハ郡道ニ屬シ其改修費ハ名西郡ノ負擔ニ歸スルモノナルカ故ニ同郡ニ屬スル鬼籠野村等ハ其郡費ヲ負擔スヘキコト明白ナルヲ以テ該道路ヲ縣道ニ編入スルモノトセハ鬼籠野村モ亦利益ヲ受クルコト自ラ當然ナリトス從テ鬼籠野村カ右道路ノ縣道編入ニ對シ右選舉法ニ所謂利害關係ヲ有スルコトハ判文上之ヲ認知スルコトヲ得ルモノトス

衆議院議員選舉法違反事件(大正六、六、二八、第二刑事部判決)

原判示ニ依レハ所論長萬部鐵道敷設問題ハ元來函館區民殊ニ選舉人ノ多數カ其敷設ノ一日モ速カナランコトヲ熱望シ居レル同區ノ重大問題ニシテ同區ニ特殊ノ利害關

係アルモノトス然ルニ被告ハ北海時論ノ發行編輯兼印刷人ニシテ偶々大正六年四月二十日行ハレタル衆議院議員選舉ニ際シ同區選出議員候補者佐々木平次郎ヲ當選セシムル爲メ該問題ヲ利用シ大正六年四月十五日發行ノ北海時論第六號ニ原判示長萬部鐵道論ナル文章ヲ掲載シ數百部ヲ函館區内ニ配布セシメ同區内ノ選舉人ヲ誘導シタルモノナレハ該問題ハ函館區ノミノ利害ニ止マラス延テ公共ノ利益ニ影響ヲ及ホスヘキ性質ノモノナルモ之カ爲メ被告ニ於テ衆議院議員選舉法第八十七條第一項第三號ノ罪責ヲ免ルルヲ得サルヲ以テ原判決カ該法條ヲ適用處分シタルハ擬律ノ錯誤ニアラス

衆議院議員選舉法違反事件(大正六、六、二九、第一刑事部判決)

原判決ニ於テハ被告豪ハ網走町斜里村下湧別村ノ衆議院議員選舉人中若干ノ者カ北見實業新聞ヲ購讀スルヨリ之ヲ利用シ云々根室釧路河西網走支廳管内議員候補者木下成太郎ニ投票セシムル目的ヲ以テ云々木下成太郎ニ選舉スルトキハ本道新拓殖十年計畫案ノ内容タル斜里網走間ノ輕便鐵道及諸滑サツクル間ノ輕便鐵道新設竝ニ名

寄下湧別間ノ既定線ノ速成ハ之ヲ實現シ得ヘキモ云々トノ記事ヲ掲載シ云々ト判示セルヲ以テ即チ國家一般ノ政策ヲ離レテ右候補者ノ屬スル選舉區ニ特殊ナル利害關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタルモノニ外ナラサレハ之ヲ所論法條ニ問擬シタル原判決ハ正當ニシテ論旨ハ理由ナシ

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(れ)第一四〇一號)

車道ノ開通縣道ノ變更又ハ築港ノ如キ問題ハ其解決ノ如何ニ依リ一定ノ市町村ニ特殊ノ利害ヲ及ホスコト有ルカ故ニ原判決カ判示問題ヲ提ケテ選舉人ヲ誘導シタル被告ノ所爲ヲ判示町村ニ對スル特殊ノ利害關係ヲ利用シタルモノト誕メタルハ敢テ不法ニアラス

町會議員選舉罰則違反事件(大正七(れ)第一六四四號)

衆議院議員選舉法第八十七條第一項第三號ニ所謂利害關係ノ利用トハ誘導者自ラ或ル利益ヲ所定ノ者ニ供給シ又ハ其申込ヲ爲スノ謂ニ非ス原判示事實ノ如ク一地方ノ里道ノ修繕カ其地方ニ大ナル利益ヲ齎ラスヘキ場合ニ町會議員トナリテ其修繕ニ關シ熱心盡カスヘキ旨ヲ説キ以テ右地方ノ居住者タル有選舉權者ヲ動カスカ如キハ正ニ右法文中選舉人ノ關係アル市町村等ニ對スル利害關係ヲ利用シ云々トアルニ該當スルコト毫モ疑ヲ容レズ而シテ右利害關係ハ固ヨリ一般國家ノ利害ニ涉ラサルモノナルコト亦明白ナルヲ以テ本論旨ハ理由ナシ

○電燈料金値下問題ノ利用

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(れ)第二八九號)

供給區域ノ廣キ電力供給者ノ經營スル電燈料金値下問題ノ如キ事項ト雖トモ其解決ノ如何ニ依リ該供給區域一般ニ關スル利害ノ外尙ホ一定ノ選舉人又ハ一定ノ市町村等ニ特殊ノ利害關係ヲ有スルコトナシトセス而シテ此ノ如キ特殊ノ關係アル場合ニ其利害關係ヲ利用シテ選舉人ヲ誘導スルハ則チ衆議院議員選舉法第八十七條第一項第三號ノ罪ヲ構成スヘク其利害關係カ他ノ地區ノ選舉人ニモ關係アルヲ理由トシテ其罪責ヲ免ルヲ得ヘキ理アルコトナシ原判旨ニ依レハ被告ハ小倉市選出衆議院議員

候補者鮎川盛貞ノ幹部運動者トシテ運動中小倉市ニ本社ヲ有シ同市及ヒ其他ノ市町村ニ電力ヲ供給セル判示會社ノ電燈料ヲ高價ニ過クルモノトナシ小倉市ノ有權者等ニ對シ電燈料ノ値下ノ交渉ハ市民一般ノ意向ニアラストテ會社ニ於テ之ヲ承諾セサルカ故ニ諸君ノ手許ニ送ル手帳簿ニ調印セラレ度シ幸ニ鮎川候補者當選セハ盡力ヲ爲シ貫フ考ヘナル故同人ニ投票シ吳レ度シトノ旨ヲ演述シ該選舉人ノ利害關係ヲ利用シ選舉人ヲシテ誘導シタルモノナルカ故ニ其所爲前記法條ニ該當スルハ論ヲ俟タス所論判例（大正四年（れ）一四九六號）ハ衆議院議員選舉法第八十七條第一項第三號ニ所謂利害關係ニ付キテハ何等ノ制限ナキコトヲ判示シタルニ止マリ地方的若クハ社會的ノ利害關係ヲ包含セサルモノトスルノ趣旨ニアラス

○樺太漁業料輕減問題露領漁業權保全問題ノ利用

衆議院議員選舉法違犯事件（大正六（れ）第一二四七號）
（大正六、七、二、第二刑事部判決）

衆議院議員選舉法第八十七條第一項第三號ニハ「選舉ニ關シ選舉人又ハ其關係アル

社寺、學校、會社、市町村等ニ關スル用水、小作、債權、寄附其他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シタル者」ト規定シ其所謂利害ノ關係ニ付何等ノ制限ヲ付セサルヲ以テ苟クモ選舉人又ハ其關係アル市町村等ノ爲メ既ニ生シ又ハ生シ得ヘキ特殊ノ利害關係ナル以上選舉ニ關シ之ヲ利用シテ選舉人ヲ誘導シタル者アルニ於テハ同條項ノ違犯者トシテ之ヲ處罰スヘク其利害關係カ延テ國家ノ利害ニ影響ヲ及ホスノ故ヲ以テ之ヲ不問ニ付スルヲ得サルモノトス蓋シ議員候補者若クハ選舉運動者カ選舉勸誘ノ爲メ國家問題ニ關シ其主義政見ヲ發表シ又ハ其抱負主張ヲ披瀝シテ公然選舉人ニ對シ其贊同ヲ求ムルカ如キハ固ヨリ正當ノコトニシテ法ノ禁スル所ニアラスト雖モ選舉人ニ關スル特殊ノ利害關係若クハ選舉人ノ關係アル市町村等ニ對スル特殊ノ利害關係ヲ利用シテ選舉人ヲ誘導スルハ正當ノ方法ニ依ラス利ヲ以テ選舉人ノ決意ヲ促スモノニシテ選舉ノ公正ヲ害スル不正ノ行爲ナレハ其利害問題カ偶々國家ノ利害ニ影響ヲ及ホスヘキ性質ノモノナレハトテ之ヲ不問ニ付スルノ理由ナキヲ以テナリ原判決ヲ查スルニ「被告淑夫ハ前代議士ニシテ且大正

六年四月二十日施行衆議院議員選舉ニ關シ函館區選出ノ同議員候補者タラントスル平出喜三郎ノ持主ナル函館區地藤町函館新聞ノ主筆記者又被告德義ハ同上新聞ノ編輯人ナル處被告淑夫ハ前記選舉ニ關シ函館區内ノ有力者カ從來平出カ議員トシテ區民ノ熱望セル問題ニ關シ冷淡ナレハ同人ヲシテ退讓セシメ他ノ適當ナル人ヲ候補者トナサントスル意嚮アルコトヲ聞知シ斯ル情勢ニテハ平出ノ當選困難ナルヘキヲ看取シ豫テ函館ニ於ケル重要ナル利害問題トシテ取扱ハレ來レル三問題即函館區カ區ノ繁榮策トシ一日モ早ク敷設スルコトヲ熱望セル長萬部鐵道問題及區民殊ニ漁業ニ關係アル區ノ有權者多數カ其ノ目的ノ到達ノ速カナランコトヲ熱望シ止マサル樺太漁業料輕減問題及露領漁業權保全問題ニ對シ平出カ從來盡力シ且議員當選後尙其盡力ヲナシ之カ目的ノ貫徹ヲ圖ルモノナルコトヲ各有權者ニ知ラシメ有權者ヲ誘導スルニ於テハ平出ヲシテ當選セシメ得ヘキヲ信シ其前知人加藤強ヨリ自己ニ受ケタル私信ノ趣旨ニヨリ「平出君ノ爲メニ」ト題シ大東生ノ名ヲ用ヒタル左記文章ヲ作成シ之ヲ被告德義ニ交付シト判示シ次キニ被告德義ニ於テ函館區ノ地方的問題タル

樺太漁業料輕減問題及露領漁業權保全問題ニ關シ平出カ熱心ニ盡力シ將來モ尙ホ亦盡力シテ其目的ヲ貫徹スヘキ趣旨ヲ包含セル文章ヲ編輯ノ上大正六年三月九日發行ノ函館新聞第七千七百二十號紙上ニ掲載シ同日之ヲ同新聞ノ各購讀者ニ配布セシメ以テ區ノ有權者及其關係アル函館區ノ利害關係ヲ利用シ區ノ有權者ニ對シ平出ニ投票センコトヲ誘導シタルモノナル旨詳細說示シアリテ樺太漁業料輕減問題及露領漁業權保全問題ハ將來函館區ニ起レル地方的問題ニシテ區民殊ニ漁業ニ關係アル區ノ有權者多數カ有利ニ解決セラレンコトヲ欲シ其目的到達ノ速カナランコトヲ熱望シテ止マサル所ナレハ該問題ハ函館區ニ特殊ノ利害關係ヲ有スル重要ナル問題ナリト云ハサルヘカラス而シテ被告等ハ偶々大正六年四月二十日施行セラレタル衆議院議員選舉ニ際シ前代議士ニシテ更ニ函館區選出ノ議員候補者タラントスル平出喜三郎ヲ當選セシムル爲メ該問題ヲ捉ヘ之ヲ利用シテ選舉人ヲ誘導シタルモノナレハ該問題ハ延テ國家ノ利害ニ影響ヲ及ホスヘキモノナルモ衆議院議員選舉法第八十七條第一項第三號ノ違犯者トシテ被告ヲ處罰セサルヲ得サルヲ以テ原判決カ同條項ニ問擬

シタルハ擬律ノ錯誤ニアラス

○地價据置年期延長問題ノ利用

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(九)第一八四二號)
(大正六(九)三二、第三刑事部判決)

上告趣旨書第一點(前略)被告菊次郎ニ於テ選舉人ヲ誘導スル爲メ利用シタリトナス利害關係ハ果シテ前述ノ如キ特別的ノ利害關係ナルヤ否ヤヲ案スルニ先ツ原判決ニ所謂利害關係ノ對象タル地目變換地價据置年期地ハ原判決カ被告菊次郎ニ於テ不正ニ誘導シタリトナス選舉人等ノミニ特別ナルモノニアラスシテ稍々廣キ範圍ニ互ツテ存在スルモノナルコトハ原判決事實ノ摘示中ニ地目變換地價据置年期地ナル田地ハ「愛知縣碧海郡刈谷町明治村其他」ニ散在スル旨ノ記載アルニ徴スルモ明白ナリ唯タ右判示記載ノミニ依テハ右年期地カ如何ナル廣キ範圍ニ亘ツテ存在スルモノナルヤヲ知ルニ由ナキヲ以テ未タ以テ該年期地ノ年期延長ニ因ル利害關係ハ一般的ノ利害關係ニシテ犯罪ノ目的トナリ得ヘキ特別的利害關係ニ非スト斷定スルニ由ナシト

雖而カモ又之ヲ以テ特別的利害關係ニシテ一般的利害關係ニアラスト斷定スルヲ得サルハ勿論ナリサレハ原判決ハ右利害關係カ前示選舉法ニ所謂利害ノ關係ニ該當スヘキ特別的利害關係ナルヤ否ヤニ付キ之ヲ認識スルニ足ル程度ノ事實ヲ確定スル事ナク否却テ一般的利害關係ナルカ如キ事實ヲ判示シ乍ラ之ヲ利用シタリトノ被告ノ所爲ヲ漫然前示法條ニ間擬シタルハ理由不備ノ違法アルモノトスト謂フニ在レトモ○所論年期延長ノ事タルヤ關係土地所有者タル選舉人ニ對シ特殊ノ利害關係ヲ有スルモノナルカ故ニ之ヲ利用シテ右選舉人ヲ誘導シタル以上ハ犯罪ヲ構成スルコト明白ニシテ其年期地ノ範圍ノ如何ハ何等ノ影響ナキモノナルヲ以テ本論旨ハ理由ナシ

○第八十七條第一項第五號ノ趣旨

衆議院議員選舉法違反ノ件(大正九(九)第一九二二號)
(大正九(一〇)二二、宣告)

衆議院議員選舉法第八十七條第五號ト其前ノ各號トハ措辭ノ方法ヲ異ニスルコト恊ニ所論ノ如クナルモ其旨趣ニ於テハ同一ニシテ獨リ選舉有權者ニ對スルノミナラス

廣ク選舉人ヲシテ議員候補者ニ投票ヲ爲サシムルニ至ルヘキ行爲ヲ爲ス者ニ對スル
場合ヲモ包含セシメタルモノト認ムルニ相當トス

○第八十七條第一項第五號ト同第七號ノ關係

衆議院議員選舉法違反ノ件(大正九(九)第一二六二號
大正九(一)一六、一六、宣告)

所論第八十七條第一項第五號ト同第七號トハ等シク同一條項ノ下ニ於テ同一處罰ヲ
以テ處斷スヘキ行爲ニ關スル規定ナレハ原判決ニ於テ第五號ヲ適用スヘキ場合ニ誤
リテ第七號ヲ適用シタルトスルモ其結果ハ同一ノ處斷ニ歸スルヲ以テ末々原判決ヲ
破毀スヘキ擬律錯誤ノ違法アリト謂フヘカラス

縣會議員選舉罰則違反ノ件(大正九(九)第一一四四號
大正九(六)三〇、宣告)

衆議院議員選舉法第八十七條第七號ト第五號トハ何レモ同一法條ニ於テ全然罪質及
處罰ヲ同シウスル犯罪ヲ認ムルモノニシテ何レヲ適用スルモ法律上ノ關係ヲ異ニス
ルモノニ非ス

○第八十七條ノ罪ノ共同正犯ト實行行爲

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(九)第一四五〇號
大正四(六)二五、判決)

原判示事實ハ論旨冒頭ニ掲クルカ如ク被告三名ハ選舉ニ關シ各選舉人ニ利益供與ヲ
申込マンコトヲ共謀ノ上被告平太郎ハ其旨ヲ含ミテ選舉人渡邊虎藏ニ對シ川合直次
ニ投票センコトヲ求メタル上選舉當日ハ辨當料ヲ供與スヘキ旨ヲ申込ミタリト云フ
ニ在レハ被告平太郎ハ前示三名共同ノ犯意實行ノ任ニ當リ被告周吾及ヒ初次郎ハ被
告平太郎ノ右行爲ニ依リテ各自ノ犯意實行ヲ爲シタルモノニ外ナラス從テ被告周吾
及ヒ初次郎モ亦被告平太郎ト均シク實行正犯ノ責ニ任セサルヘカラサルハ論ヲ俟タ
ス故ニ原判決ハ正當ニシテ論旨理由ナシ

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(六)第一九三二號
大正六(一)一九、第三刑事部判決)

衆議院議員選舉法第八十七條違反行爲ノ如キ罪ニ付キテハ縱令共謀者ノ一部分ノミ
カ其實行ヲ擔任シタルコト原判示ノ如シトスルモ其實行者ハ各自ノ犯意ノミナラス

實行ニ與カラサル者ノ犯意ヲモ遂行シ實行者以外ノ者ハ實行者ノ行爲ニ依リテ自己ノ犯意ヲ實行セシムルモノナルヲ以テ共謀者全部均シク實行正犯トシテ罪責ヲ負ハサルヘカラサルコトハ屢次當院ノ判示スル所ナレハ論旨冒頭ニ掲クル事實ヲ認メテ所論法條ニ問擬シタル原判決ハ洵ニ正當ナリ

○數人ニ對シ第八十七條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於ケル
刑法第五十四條又ハ第五十五條ノ適用

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(レ)第一四六號
大正四、七、四、判決)

被告ノ行爲ニ付キ刑法第五十四條ヲ適用スヘキモノナリヤ否ヤヲ案スルニ若シ被告カ直接ニ又ハ人ヲ介シテ間接ニ一個ノ行爲ヲ以テ同時ニ數人ニ對シ右選舉法第八十七條第一項各號ノ罪ヲ犯シタル場合ナリトセハ其所爲タルヤ其數人ノ各自ニ對スル各關係ニ於テ選舉ノ公正ヲ害スルモノナルヲ以テ刑法第五十四條ヲ適用スルヲ正當ナリトスルモ本件被告ハ人ヲ介シテ順次ニ數名ノ選舉人ニ對シ利益供與ノ申込ヲ爲

スニ至ラシメタルモノナレハ右選舉法第八十七條第一項第一號刑法施行法第十九條第二條第二十條刑法第五十五條ニ依テ之ヲ處斷スヘキモノトス

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(レ)第一四六號
大正四、七、一五、判決)

案スルニ選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ選舉人又選舉運動者ニ金錢ヲ供與スルコトハ法ノ禁スル所ニシテ犯人カ時ト場所トヲ異ニシ數人ノ者ニ對シ金錢ヲ供與シタル場合ニ於テハ其人毎ニ法益ノ侵害ヲ異ニセル犯罪行爲アルハ勿論ノコトニシテ其目的ハ假令或議員候補者ノ爲メ數個ノ投票ヲ得セシメルニ在リトスルモ其所爲ハ數個ノ行爲ニシテ單一ナル行爲ニアラス(中略)原判決カ被告不二等ノ行爲ニ對シ刑法第五十五條ヲ適用セス同法第五十四條ヲ適用處分シタルハ擬律ノ錯誤タルヲ免レサレハ本論旨ハ結局其理由アルモノトス

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(レ)第一四二〇號
大正四、七、二〇、判決)

上告趣意第一點原判決ニ於テ被告利吉ハ大正四年三月二十五日施行ノ衆議院議員選舉ニ付候補者柴田源左衛門ノ爲メニ運動ニ從事中滋賀縣鹽津村大字岩熊ノ選舉權者

ノ投票買収ヲ企テ助吉龍藏ヲ介シテ同月十六日ヨリ十九日迄ノ間ニ連續シテ數回ニ
 右大字ノ有權者河辻玄次郎外三名ニ對シ一票ニ付金若干ノ報酬ヲ供與スヘキニ付キ
 柴田源左衛門ニ投票アリ度旨申込ヲ爲シタル旨判示セリ（中略）被告利吉ハ連續シ
 テ數回ニ玄次郎外三名ニ對シ叙上ノ申込ヲ爲セリト判示セルモ其證據説明ニ依レハ
 被告利吉ハ單ニ助吉ニ對シ大字岩熊方面ノ運動ヲ囑託シタルマテニシテ實際運動ノ
 任ニ當リタルハ龍藏ナリ左レハ利吉ノ行爲ハ單ニ投票買収ノ教唆ニ止マルノミニシ
 テ其間意思ノ繼續ナル問題ヲ生スル餘地ナキノミナラス事實買収ヲ爲シタルハ他人
 ノ有責行爲ナルヲ以テ之ヲ被告利吉ノ連續セル行爲ナリト斷セルハ事實理由ト證據
 理由ト齟齬セルモノナリト云フニアレトモ○原判示事實ハ前段説明ノ如ク被告利吉
 ノ所爲ハ選舉ニ關シ相被告助吉龍藏ヲ介シ連續シテ選舉人ニ金錢ノ供與ヲ申込マシ
 メタル事實ニ該當スルヲ以テ原判決カ右被告利吉ノ衆議院議員選舉法違反ノ所爲ニ
 付キ被告利吉カ直接ニ上叙ノ行爲ヲ連續實行シタル場合ト同シク刑法第五十五條ヲ
 適用シタルハ相當ナリ

衆議院議員選舉法違反事件（大正四（九）第一六七二號）

數人ニ對シ時ヲ異ニシテ各別ニ選舉法第八十七條ノ犯罪ヲ行ヒタル場合ニ於テハ一
 般の法益即チ選舉ノ公正ヲ害スルニ止マラス各人ニ對スル選舉權ノ行使ヲモ害スル
 モノナルヲ以テ數人ニ對シテ各別ニ時ヲ異ニシテ行ヒタル右犯罪ハ別罪ヲ構成スヘ
 ク包括的一罪ヲ以テ論スヘキニ非ス故ニ若シ該犯罪ノ數個カ連續シテ行ハレタルト
 キハ刑法第五十五條ニ依リ一個ノ連續犯ヲ以テ處斷スヘキモノトス

○一個ノ約束ノ下ニ數回ニ收受シタル場合ノ擬律

衆議院議員選舉法違反事件（大正六（九）第二一六號）

上告趣意書第一點原判決ハ其事實理由中「被告ハ云々衆議院議員白石喜代助ノ爲メ
 ニ被告居村古城村ニ於テ選舉投票八十票ヲ獲得スヘキコトヲ約シ同日及同月十七日
 ノ二回ニ右投票買収ノ費用及ヒ被告ニ對スル報酬ヲ包含セル金貳百拾圓ノ供與ヲ受
 ケ之ヲ收受シタルモノナリ」ト判示シタリ即チ右事實理由ニ依レハ上告人ノ收受行

爲ハ四月十三日及同月十七日ノ二回ニ亘リテ行ハレタルモノナルヲ以テ其間意思ノ繼續アルニ於テハ刑法第五十五條ヲモ適用セサルヘカラサルモノナリトス然ルニ原判決ノ事茲ニ出テサリシハ違法ナリト云フニ在リテ○所掲原判示ノ通被告カ金錢ヲ收受シタルコトハ二回ナルモ右ハ選舉投票ヲ獲得ス可キコトノ一箇ノ約旨ニ對シ收受シタルモノナレハ即チ單一罪ト認ム可ク連續犯ヲ以テ論ス可キモノニ非ス

○數人ニ對スル報酬ノ供與、響應若クハ誘導ト

刑法第五十四條ノ適用

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(九)第一九〇六號)

本件ノ如ク選舉ニ關シ被告カ一人ノ選舉權者ニ對シテ報酬供與ノ申込ヲ爲スト同時ニ其者ヲ通シテ他ノ選舉權者ニ對シテモ同一申込ヲ爲シタル場合ハ單一ノ犯罪ヲ構成スルモノニ非ラス一行爲ニシテ數罪名ニ觸ルルモノナルコト屢次本院ノ判示スル所ナレハ論旨ハ理由ナシ

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(九)第一四六三號)

衆議院議員選舉法第八十七條第一項第二號前段ノ罪ハ選舉ニ關シ酒食遊覽其他ノ方法ヲ以テ人ヲ響應接待シ又ハ右響應接待ヲ受クルニ因リ成立スルヲ以テ本罪ニ因リ侵害スル法益ハ選舉ニ關スル包括的一般ノ公正ニ止マラス選舉人若クハ選舉運動者各自カ選舉ニ關シテ操持スヘキ公正ニ存スルモノトス然ラハ同一ノ場所及時ニ於テ選舉ニ關シ選舉人若クハ選舉運動者數名ヲ響應シタルトキハ其響應ヲ受ケタル選舉人若クハ選舉運動者各自ノ選舉ニ關シテ操持スヘキ公正ヲ害スルモノニシテ選舉人若クハ選舉運動者ノ員數ニ隨ヒ本罪成立スヘキモ右ハ一個ノ響應行爲ニ因リ數個ノ選舉法違反ノ結果ヲ生セシメタルモノナレハ刑法第五十四條第一項前段ニ依リ一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸ルルモノトシテ一罪ヲ以テ處斷スヘク包括的ニ單純ノ一罪ヲ以テ論スヘキニ非ス

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(九)第一四一四號)

所掲原判決ノ判示事實ニ據レハ本件ハ單一ノ行爲ヲ以テ同時ニ多數ノ選舉人ヲ誘導

シタルモノニ係レルヲ以テ即チ數個ノ同一罪名ニ觸ルル一個ノ行爲ナレハ之ヲ包括的ニ觀察シテ刑法第五十四條第一項前段ニ依リ一罪トシテ處斷スヘキモノナルニ拘ハラス原判決ニ於テ之ヲ單一ノ選舉人誘導罪トシテ處斷シタルハ其失當ナルコト洵ニ所論ノ如シ

○一行爲ニ依リ數人ヲ教唆シタル場合ト刑法

第五十四條ノ適用

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(レ)第一八七五號)

原判決認定ノ事實ニ依レハ被告嘉三郎ハ被告雅之亮外二名ニ對シ選舉人ノ買收ニ盡カスヘキ旨教唆ヲ加ヘ而シテ右雅之亮等ハ該教唆ニ從ヒ各原判決ニ列記セル數個ノ買收行爲ヲ爲シタルモノニシテ即チ數名ヲ教唆シタル一行爲ニ依リ各被告者ヲシテ各數個ノ違反行爲ヲ犯サシメタルモノナルヲ以テ一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸ルルモノト做シ刑法第五十四條第一項前段ヲ適用スヘキモノナルコトハ從來當院

判例ノ示ス所ナリ

○第八十七條第一項各號ノ行爲ト連續犯ノ成立

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(レ)第一七四四號)

衆議院議員選舉法第八十七條第一項ノ所定ノ呂行爲ハ犯罪ノ體様ヲ異ニスルモノト雖モ同一罪名ニ觸ルルモノト謂フヘキヲ以テ同一ノ意思發動ニ依リテ之ヲ連續實行スルニ於テハ刑法第五十五條ノ連續犯ヲ以テ論スヘキモノトス故ニ原判示ノ如ク被告朝吉カ被告利助ヲ選舉運動者トシテ利助ノ爲メニ投票ヲ得セシムル目的ヲ以テ選舉ニ關シテ金圓ヲ他ノ選舉運動者ニ供與シ若クハ自ラ金圓ノ供與ヲ收受シタル數個ノ行爲ヲ連續實行シタル場合ニ於テハ同一ノ意思發動ニ出テタルモノト認ムヘキヲ以テ原判決ニ於テ所論ノ各行爲ヲ衆議院議員選舉法第八十七條第一項刑法第五十五條ニ問疑シ之ヲ處斷シタルハ相當ニシテ本論旨理由ナシ

○投票承諾及運動ノ爲金錢ヲ供與シタル場合ノ擬律

縣會議員選舉違犯事件(大正五(れ)第九〇〇號)

案スルニ選舉人ニ利益ヲ供與シテ直接ニ其投票權ヲ左右セントスルモ選舉運動者ニ利益ヲ供與シテ間接ニ投票ヲ得ントスルモ齊シク選舉ノ公平ヲ害スル行爲ナルヲ以テ選舉人ニシテ選舉運動者ヲ兼ヌル者ニ對シ其投票承諾及運動承諾ノ爲メ一定ノ金額ヲ供與スル行爲ハ一人ニ關シ同時ニ爲シタル同一法益侵害ノ行爲ニ外ナラサレハ單純一罪ニシテ一行爲數罪名ニ觸ルルモノニアラス原判決ノ認定事實ニ依レハ被告ハ加藤牧太郎ヲ介シテ選舉人タル林傳藏ニ爲シ椎野吉五郎ノ爲ニ投票及選舉運動ヲ依頼シ傳藏ノ投票承諾運動承諾ニ對スル報酬等ノ爲メ金五圓ヲ同人ニ供與シタリト云フニ在ルヲ以テ被告ノ該行爲ハ府縣制第四十條衆議院議員選舉法第八十七號第一項第一號ニ該當スル單純ナル一罪ニシテ數罪名ニ觸ルルモノニアラス

○沒收ノ言渡ヲ受クヘキ場合

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(れ)第一六四三號)

上告趣意第二點原判決ハ「押收ノ拾圓紙幣二枚ハ原審相被告佐々木吉三郎ノ收受シタル物件ト認ムルニ依リ衆議院議員選舉法第八十七條第二項ニヨリ之ヲ沒收ス」ト宣告シタリ然レトモ右衆議院議員選舉法第八十七條第二項前段ニ從フ沒收ハ物件ノ收受者ニ對シテノミ之ヲ科スヘキモノナルコトハ其法意上明ナル處ナリトス然ルニ原判決カ前示ノ如ク其收受者ナラサル上告人ニ對シテ之ヲ言渡シタルハ違法ニシテ原判決ハ此點ニ於テ破毀セラルヘキモノト云フニ在リ○仍テ案スルニ衆議院議員選舉法第八十七條第二項ニハ前段ノ場合ニ於テ其收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ云々トアリテ該規定ハ右同條揭示ノ物件ヲ收受シタル者ノミニ對シ適用スヘキモノニシテ判示ノ如キ被告行爲ニ對シテ適用スヘキモノニ非サルコト洵ニ所論ノ如シ

○供與ヲ受ケタル金錢ヲ兩替シタルトキハ尙ホ之ヲ
沒收シ得ルヤ

衆議院議員選舉法違反事件(大正七(レ)第二八(一)號
大正七(レ)三(二)七(一)號 判決)

金錢ハ之ヲ兩替スルモ其性質ヲ變更スルモノニ非サレハ原判決カ所論ノ如ク供給ニ
係ル十圓札二枚ヲ兩替シタル一圓札二十枚ヲ沒收シタリトスルモ不法ニアラス

○投票買收費運動實費並運動報酬ヲ包括セル一定ノ金額
ヲ選舉運動者ニ交付シタル場合ニ報酬トシテノ金額確
定セルトキニ於ケル沒收ノ方法

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(レ)第一六(七)二號
大正四(レ)七(二)七(一)號 判決)

被告治右衛門及ヒ政吉カ選舉ニ關シ共同シテ收受シタル金員ハ八十三圓三十三錢三
厘ナルコトハ原判決ノ確定セル所ナルヲ以テ之ニ對シテ領置金品中被告政吉ノ差出

シタル十圓紙幣三枚五圓紙幣二枚一圓紙幣三枚此金額四十三圓並ニ被告治右衛門ノ
差出シタル五圓紙幣三十四枚此金額百七十圓中ヨリ孰レモ右收受金ノ各半額ニ相當
スル部分ノミヲ沒收スヘキニ拘ハラヌ收受金額ヲ超過シテ領置金ノ金額ヲ沒收シタ
ルハ違法ナリト謂ハサルヘカラス或ハ右領置金中ニハ單タ被告治右衛門及ヒ政吉カ
選舉運動ニ關シテ報酬トシテ收受シタル金員ノミナラス投票買收費及ヒ運動實費ヲ
モ含メテ包括的ニ交付ヲ受ケタルモノナルコトハ原判決ノ認定セル如クニシテ之ヲ
分別スルコトヲ得サルヲ以テ其全部ニ付キ包括的ニ沒收處分ヲ爲シタルハ相當ナル
ノ觀ナキニ非スト雖モ元來衆議院議員選舉法ニ於ケル沒收及ヒ追徵ハ犯人ヲシテ不
法ノ利益ヲ享受セシメサルコトヲ以テ目的ト爲シ其物ノ存在ヲ否定セントスル趣旨
ニ非サレハ金錢其他代替性ヲ有スル物ニ付テハ其物自體ノ沒收ヲ必要トセス故ニ包
括的ニ給付ヲ受ケタル金員中ニ不法ノ性質ヲ有セサルヲ以テ沒收スルヲ得サル部分
アルトキハ其部分ヲ控除シ其殘額ニ相當スル不法收受ニ該當スル金額ヲ沒收シ其他
ハ之ヲ還付スルヲ適當ノ處分トス故ニ原審カ上叙ノ措置ニ出テサリシハ所論ノ如ク

違法アルヲ免レス

○饗應ノ追徴價格算定方

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(レ)第一六〇九號 大正四(レ)七、九、判決)

饗應ノ物品ノ數量又ハ其價格ヲ算定スルニ對シテハ之カ爲メ提供シタル飲食物ノ數量又ハ其價格ニ依ルヲ相當トシ之ヲ受ケタル者カ現實ニ飲食シタル數量又ハ之ニ對スル價格ニ依ルヘキモノニ非サルヲ以テ所論原判旨ハ孰レモ正當ニシテ所論ノ如キ不法アリト謂フヲ得ス

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(レ)第一八一八號 大正四(レ)一、四、判決)

饗應シタル物品ノ價額ヲ算定シ追徴額ヲ決定スルニ付テハ饗應者ノ提供シタル飲食物ノ價額ニ依ルヘキモノニシテ被饗應者カ現實ニ飲食シタル數量又ハ價額ニ依ルヘキモノニ非ス故ニ原判決カ所論ノ證據ヲ引用シテ一人分ノ饗應費金一圓二十一錢三厘ナルコトヲ明ニシタル以上ハ他ニ被饗應者カ現實ニ費用シタル飲食物ノ數量ニ付

キ證據ヲ摘示セサルモ之ヲ以テ所論ノ如キ違法アリト云フヲ得ス

○選舉運動ニ要スル實費ト選舉運動ニ對スル報酬額ヲ分別シ能ハサル場合ト没収及追徴

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(レ)第二三二一號 大正四(レ)一〇、二八、判決)

没収又ハ追徴ハ不法ニ收受シタル金額ニ付テ之ヲ爲スヘキモノニシテ其以外ニ及ホスヘキモノニ非サルカ故ニ一定金額中ニ實費ト報酬トヲ包含セラルルコト明カニシテ而カモ二者ノ各金額ヲ分別スルコト能ハサル場合ニ於テハ全然没収又ハ追徴ヲ爲スコト能ハサルニ歸著スヘキモノニシテ此ノ如キ場合ニ於テ全部ニ付キ没収又ハ追徴ヲ爲スヘシト解スルハ正當ニアラス

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(レ)第一八四一號 大正六(レ)九、一七、第二刑事部判決)

按スルニ選舉運動ノ實費ノ供與ト選舉運動ニ對スル報酬ノ供與トハ全然其性質ヲ異ニシ前者ハ罪ト爲ラサレトモ後者ハ選舉法違反トナルヲ以テ之ヲ區別シテ視察スヘ

キハ勿論ナリト雖モ一定ノ金員中ニ運動ノ實費ト運動ノ報酬トヲ包含セシメ特ニ區分スルコトナク供與シタル場合ニ於テハ供與ノ金圓中幾何ハ運動ノ實費ニ屬シ幾何ハ運動ノ報酬ニ屬シタルヤヲ確定セサルモ苟モ相當ノ金圓カ運動ノ報酬トシテ供與セラレ運動者其意ヲ諒シ之ヲ收受シタルコト明確ナル以上ハ選舉法違反ノ罪ヲ以テ之ヲ論スルニ妨アルコトナシ而シテ斯カル場合ニ於テハ收受金額ヲ確定シ收受者ヨリ之ヲ沒收シ若クハ追徴スルコトヲ得サルモ事實上止ムヲ得サルモノニシテ罪ト爲ルヘキ事實ヲ確定セサル違法アリト謂フヘカラス本論旨ハ理由ナシ

○債務ノ免除ヲ得タル場合ト追徴

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(れ)第二六五一號)
(大正四、一、四、判決)

衆議院議員選舉法第八十七條第二項ニハ第一項ノ規定ニ違背シ收受シタル物件ヲ費用シタルトキハ其價ヲ追徴スル旨規定シアリテ本件ノ如ク單ニ債務ノ免除ヲ得タルノミニテ其收受セシ物件ナキ場合ニ於テハ其價ヲ追徴スルコトヲ得サルモノトス然

ルニ原判決カ被告松雄ニ對シ其免除ヲ受ケタル債務金ノ額ニ相當スル金百圓ヲ追徴シタルハ擬律ノ錯誤ニシテ本論旨ハ結局其理由アルヲ以テ被告松雄ニ對スル原判決ハ破毀ヲ免レス

○選舉運動請負ノ爲供與ヲ受ケタル場合ノ追徴

衆議院議員選舉法違反事件(大正七(れ)第三二二三號)
(大正七、四、二〇、第三刑事部判決)

選舉運動請負報酬トシテ金員ノ供與ヲ受ケタルトキハ之ト同時ニ利益ヲ享受スルモノニシテ爾後之ヲ實際上運動費ニ使用スルトキハ即チ衆議院議員選舉法第八十七條第二項ニ所謂收受シタル物件ヲ消費シタルモノニ該當スルモノナルヲ以テ原判決カ所論判示ノ如ク追徴ヲ爲シタルハ不法ニアラス論旨理由ナシ

衆議院議員選舉法違反事件(大正七(れ)第四六八號)
(大正七、六、七、第一刑事部判決)

原判決ニハ所論各被告カ一定ノ地域ニ於ケル選舉運動ヲ請負ヒ其報酬トシテ判示各金員ノ供與ヲ自己ノ所得トシテ收受シタル事實ヲ判示シアルヲ以テ其金員ノ使用ニ

付テハ毫モ供與者ノ制限ヲ受クルコトナク自由處分ニ委ネラレタルモノニシテ其一部又ハ全部ヲ舉ケテ他ノ選舉運動者ニ對スル報酬ニ供與シタリトスルモ自己ノ用途ニ費消シタルト等シク自己ノ處分權ノ行使ニ外ナラス之ヲ以テ選舉ノ實費ニ充當シタルモノト謂フヘカラス然ラハ原判決ニ於テ所論各被告ニ對シ判示費用シタル收受金ニ付キ追徴ヲ命シタルハ相當ニシテ本論旨ハ理由ナシ

○選舉運動ノ請負カ重複累行セラレタル場合ノ追徴

衆議院議員選舉法違反事件(大正七(七)第一二二號)
(大正七(七)五、第一刑事部判決)

原判示ノ如ク選舉運動ノ請負カ重複シテ累行セララルル場合ニ於テハ第三次ノ請負者ノ收受セル報酬金ハ第二次ノ請負者ノ收得セル報酬金ノ一部ニシテ第二次ノ請負者ノ收受セル報酬金ノ一部ナレハ各不法ニ領得セル金員ヲ沒收シ若クハ費用シタル金額追徴スルニ於テハ當然第一次ノ收受金ノ一部若クハ第二次ノ收受金ノ一部ハ三重若クハ二重ニ沒收又ハ追徴ノ處分ヲ受クルカ如キ奇觀ヲ呈スルコトヲ免レサルヘシ

然レトモ沒收追徴ニ關スル立法ノ精神カ犯人ヲシテ不法ノ利益ヲ享受セシメサラシメンコトヲ期スルニ在ルニ鑑ミレハ沒收又ハ追徴ヲ爲ス可キ不法利益ノ存否ハ各犯人ニ付キ觀察セサルヘカラス隨テ第一次ノ請負者ノ收受シタル報酬金ノ一部カ第二次ノ請負者ノ報酬トシテ供與セラレタルトキハ右一部ノ金圓ハ第一次ノ請負者ノ利益ニ於テ費用セラレタルモノニ係ルヲ以テ他ノ受收金圓ノ沒收ト共ニ追徴セラレサルヘカラス第二次ノ請負者ノ收受シタル報酬金ノ一部カ第三次ノ請負者ニ供與セララルル場合亦同シ第三次ノ請負者カ其收受金ノ全部ヲ沒收又ハ追徴セララルルモ之カタメ請負者ノ費用シタル金圓ノ追徴ヲ免除ス可キ理由トナラス第二次ノ請負者ト第一次ノ請負者ノ關係亦同一ニ出テサル可ラス

○沒收物件ノ實用

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(九)第三二五九號)
(大正五(三)一四、判決)

所論原審共同被告人等カ供與ヲ受ケタル金圓ヲ費用シタルコトハ罪ト爲ルヘキ事實

ニ非サルヲ以テ必スシモ證據ニ依リ之ヲ認メタル理由ヲ説明スル要ナキノミナラス
被、供、與、者、ニ、於、テ、供、與、ヲ、受、ケ、タ、ル、金、圓、ヲ、其、私、金、ト、混、同、シ、又、ハ、之、ヲ、更、ニ、他、ノ、選、舉、運、動、者
ニ、供、與、シ、タ、ル、事、實、ハ、之、ヲ、費、用、シ、タ、ル、モ、ノ、ト、解、シ、得、ヘ、キ、ヲ、以、テ、所、掲、芳、三、郎、及、ヒ、寬、太、郎
ノ、原、審、公、廷、ニ、於、ケ、ル、供、述、ノ、摘、示、モ、亦、供、與、ヲ、受、ケ、タ、ル、金、圓、ヲ、費、用、セ、サ、ル、趣、意、ナ、リ、ト、論
ス、ル、コ、ト、ヲ、得、ス、本、論、旨、亦、理、由、ナ、シ

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(九)第一九二九號
大正四(一〇)九、九、判決)

數人カ共同シテ選舉ニ關シテ一定ノ金員ヲ收受シタルトキハ現實ノ分配額如何ヲ問
ハス其共同體ニ於テ金額ヲ收受シタルモノニ外ナラサルヲ以テ收受金ヲ追徴スル場
合ニ於テモ各被告ノ分配額及ヒ費用額ノ多寡ヲ論セス現實被告ノ手ニ存在セサル金
額ハ之ヲ費用シタルモノト認メ共同體ノ責任ヲ以テ追徴スヘキモノナレハ右費用金
ヲ各被告ニ平分シテ負擔セシムルハ相當ナリ

○沒收ニ關スル擬律

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(九)第一九二九號
大正四(一〇)九、九、判決)

案スルニ衆議院議員選舉法第八十七條第一項ノ犯罪ニ關シ沒收ノ言渡ヲ爲スニハ同
條第二項ノ規定ニ依ルヘキモノニシテ刑法總則第十九條ヲ適用スヘキモノニ非ス何
トナレハ衆議院議員選舉法第八十七條第二項ハ沒收ニ關スル特別規定ニシテ同様第
一項ノ犯罪ニ關シテハ沒收ノ一般規定ヲ除外シタルモノト解釋スルヲ至當トスルヲ
以テナリ原判決カ本件沒收言渡ヲ爲スニ當リ刑法第十九條ヲ適用シタルハ不當ナル
ノミナラス衆議院議員選舉法第八十七條第二項ノ規定ヲ設ケタル所以ハ選舉ニ關シ
テ利益ノ供與ヲ受ケ以テ不法ナル利益ヲ獲得スルヲ防止スルノ趣旨ニ出テタルモノ
ナルカ故ニ本項ニ因ル沒收ノ言渡ハ物件ノ收受者ニ對シテノミ之ヲ爲スヘク物件ノ
供與ヲ爲シ若クハ供與センコトヲ申込ミ又ハ其申込ヲ承諾シタル者ニ對シテ爲スヘ
キモノニ非サル事ハ法文ノ解釋上毫モ疑ヲ容ルヘキ所ナシ

○第八十七條第二項ニ所謂費用ノ意義

衆議院議員選舉法違反ノ件(大正八(レ)第二二七二號)

衆議院議員選舉法第八十七條第二項ニ所謂費用トハ其收受シタル物件カ給付其他ノ行爲ニ依リ犯人ノ手裡ニ現存セサルコトヲ指稱シタルモノニシテ犯人カ自己ノ利益ノ爲メ之ヲ處分シタルト否トヲ問ハサルモノトス

○第八十八條第一號ノ趣旨

市會議員選舉罰則違反ノ件(大正一〇(レ)第一七七七號)

判示ニ依レハ被告ハ京都市會議員ノ選舉ニ際シ一級議員選舉有權者某ニ對シ同級候補者某ニ投票セラレタキ旨懇請シタルモ同人カ之ニ應セサルヲ憤リテ判示ノ如ク同人ニ對シ茶碗ヲ投付ケ負傷セシメタルモノニシテ其行爲ハ市制第四十條ニ因リ適用ス可キ衆議院議員選舉法第八十八條第一項ニ所謂選舉ニ關シ選舉人ニ對シ暴行ヲ加ヘタルモノトアルニ該當スヘシ何トナレハ該條ノ旨趣ハ苟モ選舉ニ關シ選舉人ニ對シ暴行ヲ加フルニ於テハ選舉ヲ強要スルト否トニ拘ハラヌ處分スヘシト謂フニ在ル

事勿論ナレハナリ

○暴行

村會議員選舉違反事件(大正三(レ)第一五二〇號)

衆議院議員選舉法第八十八條第一號ハ公然議員候補者ニ立チ運動ニ從事スルト否トヲ問ハス苟モ選舉ニ關シ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタルモノハ之ヲ處罰スル趣旨ナルコト明文上ハ勿論選舉權ノ行使ヲ公平安全ナラシムル上ニ於テ更ニ疑ナキ處ニシテ原判決説示ノ事實ハ正ニ右事實ニ適合スルヲ以テ假リニ被告カ公然議員候補者ニ立チ其運動ニ從事中本件犯罪ヲ爲シタルコトニ付キ證據説明ヲ缺クトスルモ原判決ハ相當ニシテ之レカ爲メニ破毀セラルヘキモノニ非ス

○拐引

縣會議員選舉違反事件(明治四五(レ)第五七九號)

衆議院議員選舉法第八十八條第一號ノ拐引罪ハ選舉ニ際シ選舉人ヲ誑惑シテ其現在地ヨリ他所ニ誘引スルニ因リテ成立スルモノニシテ其自由意思ヲ霸束シテ同行ヲ強要シ又ハ選舉權ノ行使ヲ妨害スルコトハ同罪ノ構成要件ニアラス故ニ所論ノ如ク被告等カ選舉有權者ノ自由意思ヲ拘束セス又選舉ノ當日選舉有權者ヲ歸宅セシメタル事實アルモ之カ爲メ該犯罪ノ成立ヲ妨クルモノニアラサレハ原審カ此等ノ事實ニ顧慮スルコトナク被告等ニ有罪ノ判決ヲ爲シタルハ正當ニシテ不法ニアラス

○脅 迫

(參照判例)

市町村會議員選舉罰則違犯等事件(明治四四(レ)第一〇七四號 明治四四、六、九、判決)

被告等ハ玆ニ共謀ノ上被告治郎兵衛ノ財産上ノ關係ヲ利用シ其目的ヲ遂行セント企テ同月二十七日午後被告治郎兵衛ハ其二男磯男、雇人高橋八郎被告萬作等ヲシテ被告治郎兵衛ニ對シ責務ヲ負ヒ又ハ其土地ヲ小作セル等ノ關係アル選舉有權者折笠春

吉、折笠竹八、邊見常八、佐藤林八、同治吉、同多市、邊見萬次郎、佐藤清三郎、佐藤寅治及被告萬作ト親交アル高橋倉次郎ヲ被告治郎兵衛宅ヘ招待シ萬作ニ於テ右選舉有權者ニ對シ前記治郎兵衛ノ豫選セシ物江丑松等ヲ選舉センコトヲ求メ若シ之ヲ選舉セサルニ於テハ向後治郎兵衛ハ汝等ニ對シテ面倒ヲ見サルヘシト云ヒ暗ニ財産上ノ利益ナル結果ヲ來ス可キ旨ヲ以テ何人等ヲ脅迫シ且同夜十二時頃前記春吉等ニ對シ汝等ハ一旦物江丑松等ヲ選舉スルコトニ同意シタルモ歸宅スルニ於テハ變心ノ恐レアルヲ以テ若シ歸宅セント欲セハ治郎兵衛ノ承諾ヲ得可シト云ヒ聞ケ同人等ニ於テ歸宅スルニ於テハ治郎兵衛ノ怒ニ觸レ財産上ノ利益ヲ來スヘキ旨ヲ暗示シ右春吉等ヲ脅迫シテ同人等ヲ同夜同家ニ宿泊セサルヲ得サルニ到ラシメ終ニ豫期ノ如ク右丑松等ヲ當選セシメタリ云々トアリテ右判示事實ハ所揭選舉罰則第七條ニ所謂脅迫行爲ナルコト勿論ナルヲ以テ原審ニ於テ右被告等ノ所爲ニ對シ判示ノ如ク處分シタリシハ相當ナリ上告人等ハ右被告等ノ行爲ヲ單ニ恩惠態度ヲ採ラスシテ權利ノ實行ヲ嚴確ニスルモノニ外ナラサレハ脅迫行爲ニ非スト論スルモ地主ニ於テ從來ノ

慣習ヲ無視シ故ナク小作人等ノ生命ト賴ム所ノ小作地ヲ引上クルカ如キ態度ヲ示シ若クハ人ノ自由ヲ拘束シ止メテ歸宅スルコトヲ得サラシムル等ノ行爲ハ決シテ地主若クハ債權者其者ノ權利ノ實行ト云フヘキモノニアラス是又一ノ脅迫的不正行爲ナルコト前段既ニ説明スル如クナルヲ以テ本論旨ハ理由ナシ

○第八十八條第二號ノ解釋

衆議院議員選舉法違反ノ件(大正九(レ)第一九六六號
大正九、一〇、二七、宣告)

被告ハ衆議院議員ノ選舉ニ際シ一派ノ選舉運動者カ劇場ヲ借受候補者ノ政見發表及其應援ノ演說會ヲ開催セントスルニ當リ其開催ヲ妨害センカ爲一時劇場内ノ物品ヲ取出ス必要アリトノ口實ノ下ニ右運動者ヲ欺キ其者ヨリ劇場ノ開放ニ要スル鍵ヲ受取り之ヲ適當ノ時期ニ返還セスシテ遂ニ豫定ノ開催ヲ不能ナラシメタルモノナルヲ以テ其行爲ハ選舉運動ヲ妨害シタルモノニシテ又其手段ニハ詐僞ヲ用ヒタルモノニ外ナラス之ヲ衆議院議員選舉法第八十八條第二號ニ間擬シタル原判決ハ正當ナリ

○第八十八條第三號ノ趣旨

縣會議員選舉罰則違反ノ件(大正八(レ)第二六九六號
大正九、一、一六、宣告)

衆議院議員選舉法第八十八條第三號ニハ「選舉人又ハ其關係アル社寺學校會社組合市町村等」トアルヲ以テ社寺學校會社組合市町村ト同視スヘキ事情ノ存スル公私ノ營造物又ハ團體等ヲ包含スル趣旨ナルヤ疑ヲ容レヌ

○選舉人ヲ威逼スヘキ利害關係ノ範圍

町會議員選舉罰則違反ノ件(大正六(レ)第一五一四號
大正六、七、九、判決)

按スルニ衆議院議員選舉法第八十八條第一項第三號ニ所謂選舉人ヲ威逼スヘキ利害關係トハ同號例示ノ事項以外ニ屬スル選舉人又ハ其關係アル社寺學校會社組合市町村等ニ害惡ヲ發生セシムヘキ事項ヲ汎稱スト解スヘキヲ以テ一地方ノ住民團體間ニ於テ行ハルル個人ノ日常社會生活ニ苦痛ヲ與フヘキ絶交(村外シノ類)ノ如キハ同

號、ニ所謂利害關係ノ一種ナリト謂フヲ妨ケス故ニ選舉ニ關シテ上叙關係ヲ利用シタル選舉人ヲ威逼スル行爲ハ選舉法第八十八條ノ罪ニ該當スルヤ論ナシ

○債權關係ノ利用ト威逼

村會議員選舉罰則違反ノ件(大正七(れ)第二〇六號
大正七(れ)第三三三號判決)

仍テ按スルニ人ヲ威迫スルニハ虛偽ノ事實ヲ主張スルコト寧口通例ナルヲ以テ判示ノ如ク虛偽ノ事實ニ依リ債權關係ヲ利用シテ選舉人ヲ威逼シテ投票ヲ爲サシメタル場合ニハ第八十八條第三號ヲ適用スルヲ相當トスルコト所論ノ如クナルモ第三號ヲ適用スルト第一號ヲ適用スルトハ等シク同一法條ノ同一犯罪ヲ構成スルモノニシテ毫モ利害ノ關係ニ影響ナキヲ以テ第三號ヲ適用セスシテ第一號ヲ適用スルモ之ヲ以テ破毀ノ理由ト爲スニ足ラス

○一箇ノ行爲ニ依ル數人ノ威逼ト刑法第五十四條ノ適用

衆議院議員選舉法違反事件(大正四(れ)第一六五八號
大正四(れ)七(れ)一二三號判決)

衆議院議員選舉法第八十八條第三號ノ犯罪ハ選舉ノ公正ヲ害スルト同時ニ選舉人ノ有スル選舉權迫害ヲ加フルモノナルカ故ニ一個ノ行爲ヲ以テ數人ノ選舉人ニ對シ同條同號ニ掲クル威逼ヲ加フルニ於テハ被害者タル選舉人各自トノ關係上各一個ノ罪名ニ觸レ選舉人ノ員數ト罪名ノ個數トハ相一致スルモノニシテ此場合ニ其罪ハ同一ナルモ罪名ニ觸ルル個數ハ單一ニアラス故ニ之ニ關シ原審ニ於テ刑法第五十四條第一項ヲ適用シタルハ正當ナリ

○選舉ニ關スル事由ニ基クモ其ノ目的選舉權ヲ左右セント

スルニ非サル場合

衆議院議員選舉法違反及脅迫事件(大正四(れ)第二九六四號
大正四(れ)一二三三號判決)

衆議院議員選舉法第八十八條第三號ハ選舉人ノ有スル選舉權ヲ左右スル場合ナルヲ以テ假令選舉ニ關スル事由ニ基クトキト雖モ其目的カ公務ノ執行ヲ妨害スルニ在ル

トキハ同條項ニ該當セス原判決ニ依レハ被告ハ小出多市カ選舉ニ關シ背德行爲アルヲ以テ之ヲ憤慨シ同人ヲシテ其收入役ヲ辭セシムル爲メ脅迫シタルモノナレハ正ニ刑法第九十五條第二項ニ該當スルモノトス

○絶交ノ決議

町會議員選舉罰則違犯事件(大正六(九)第一五一(四)號
大正六(七)九、第二刑事部判決)

衆議院議員選舉法第八十八條第一項第三號ニ所謂選舉人ヲ威逼スヘキ利害關係トハ同號例示ノ事項以外ニ屬スル選舉人又ハ其關係アル社寺學校會社組合市町村等ニ害惡ヲ發生セシムヘキ事項ヲ汎稱スト解釋スヘキヲ以テ一地方ノ住民團體間ニ於テ行ハルル個人ノ日常生活ニ苦痛ヲ與フヘキ絶交(村外シノ類)ノ如キハ同號ニ所謂利害關係ノ一種ナリト謂フヲ妨ケス故ニ選舉ニ關シテ上叙關係ヲ利用シ選舉人ヲ威逼スル行爲ハ選舉法第八十八條ノ罪ニ該當スルヤ論ナシ然レトモ原判決ハ被告等カ所論ノ決議ヲ爲シ且右決議ヲ議事録ニ掲載セシメタル事實ハ之ヲ認メ得ヘキモ右

決議ノ成立及該議事録掲載ニ關シテ選舉人タル樋口甚吾外八名ヲ強要シタル事實ヲ認ムヘキ證據十分ナラサル旨ヲ說示シ以テ原審ニ於テ被告等カ選舉人タル樋口甚吾等ヲ強要シテ被告宗太郎ノ推薦團體ニ加入セシメ違約スル場合ニ於テハ絶交ノ制裁ヲ加フヘキ旨ノ決議ヲ爲シ因リテ選舉ニ關シ利害關係ヲ以テ選舉人ヲ威逼シタリトノ公訴事實ヲ否認シ以テ被告等ニ對シテ無罪ヲ言渡シタル理由ヲ明示セリ而シテ原判決ニハ選舉人タル樋口甚吾等ヲ強要シテ所論決議ニ同意セシメタル事實ヲ認メサルヲ以テ右甚吾等カ任意ニ右決議ニ賛同シタルカ爲メニ爾後絶交ヲ受クル不安ノ地位ニ立チタリトスルモ之ヲ以テ直ニ被告等カ選舉ニ關シ利害關係ヲ利用シテ選舉人ヲ威逼シタリト謂フヘカラス故ニ所論原判決末段ノ說示ハ違法ニ非ス原判決ハ相當ナリ本論旨ハ要スルニ原判示ニ副ハサル攻撃ニシテ原審ノ職權ニ屬スル事實認定ノ非難ニ歸シ適法ノ上告理由ト爲ラス

(參照) 第二審判決要旨

本件公訴事實ハ被告忠吉ハ八女郡黒木町大字桑原字西桑原ノ區長、被告宗太郎、松藏、與三郎、友吉ハ同

字ノ組長ヲ爲シ居ル處、右被告等ハ相共ニ大正六年四月一日執行セラレタル同町々會議員ヲ選出セント企テ同年三月四日字西桑原ノ選舉人樋口甚吾外數名及部落民二十餘名ヲ被告忠吉宅ニ招集シ被告彦五郎ト語ヒ右被告六名ハ共謀ノ上被告忠吉ヨリ會衆ニ對シ今回ノ町會議員選舉ニ就テハ西桑原ヨリ一人ノ議員ヲ選出セサルヘカラサルニ前回ノ選舉ニ於ケルカ如ク部民ノ一致ヲ缺クトキハ其希望ヲ達スルヲ得サルニ付今回ハ是非トモ部民ノ協同一致ヲ要スル旨及ヒ一致ヲ破ルカ如キ行動アルモノニ對シテハ絶交ヲ爲スヘキ旨提案シ樋口甚吾外八名ヲシテ右提案ニ強テ同意セシメタル末候補者ノ選舉ヲ爲シタルニ被告宗太郎カ多數ニテ當選スルニ至リシ處同月十九日夜選舉人樋口甚吾外數名及ヒ二十餘名ノ部落民ヲ被告忠吉宅ニ招集シ前回ノ決議ノミニテハ效力薄キヲ以テ該決議ヲ同部落ノ議事録ニ明記シ置クコトニ強テ同意セシメ被告忠吉保管ノ議事録ト題スル帳簿ニ本町會議員中一名ヲ本區ヨリ選舉スル目的ヲ以テ豫選ヲ行ヒ八田宗太郎ヲ議員候補者ニ共同一致スルコトニ協定ス若シ之ニ違背スレハ絶交スト記載シ以テ選舉人樋口甚吾外八名ヲ威逼シタリト云フニ在リテ決議ヲ爲シタルコト及同決議事項ヲ議事録ニ記載シタルコトハ一件記録ニ徴シ之ヲ認メ得ヘキモ右決議ノ成立及議事録ノ掲載ニ關シ被告等カ樋口甚吾外八名ニ對シ威逼ヲ加ヘタリト認ムヘキ犯罪ノ證據充分ナラス同決議ニ參加シタル甚吾外八名カ被告等ト共ニ其後絶交ノ危惧ヲ懷クコトアラシモ开ハ各任意ノ諾約ヨリ生シタル結果ニ過キサレハ各被告ニ何等責ムヘキ事由ナキヤ論ヲ俟タス故ニ被告等ニ對シテハ刑事訴訟法第二百二十四條ニ從ヒ無罪ヲ言渡スヘク云々

○取引關係ヲ斷タルルコトアルヘキ旨ノ威逼

市會議員選舉罰則違犯事件(大正六(九)第一七一七號 第一刑事部判決)

上告趣意書第一點原判決ハ被告カ水戸市會議員選舉ニ付キ其候補者永井彌八郎ノ爲メ選舉人小林熊次郎ニ對シテ彌八郎ニ投票スヘキ旨依頼シタルモ其承諾ヲ得サルヨリ熊次郎ノ子重造ニ對シ若シ熊次郎ニ於テ彌八郎ニ投票セサレハ從來兩人間ニ行ハレタル菓子賣買ノ取引關係ヲ斷タルルコトアルヘキ旨申向ケ重造ヲシテ父熊次郎ニ傳達セシメタルノ事實ヲ以テ市制第四十條第一項ニ依リ衆議院議員選舉法第八十八條第三號ニ間擬シタリ然レトモ上記賣買ノ取引ハ候補者永井彌八郎ト選舉人小林熊次郎トノ間ニ存在シ被告ノ關與セサルモノナレハ之レカ繼續斷絶等ハ被告ノ得テ左右スヘキモノニ非ス故ニ將來永井彌八郎ヨリ右取引ヲ斷タルルコトアルヘシトハ單純ナル被告ノ意見ニシテ必然スル結果ヲ來スコトヲ期ス可カラス其豫想ノ適中スルヤ否ヤノ斷定ニ付テハ被告ト小林熊次郎間ニ優劣アルヲ見ス然レハ此ノ如キ單純ナ

ル意見ヲ表示シテ選舉人ニ望ムモ之ヲ威逼シタルモノト謂フ可ラス然ルニ前記ノ如ク法條ヲ適用シタルハ擬律ノ錯誤アルモノト信スト云フニ在レトモ○被告ハ永井彌八郎ノ選舉運動者ナルヲ以テ説クニ利害ヲ以テセハ右彌八郎ト小林熊次郎トノ間ニ於ケル判示取引ヲ絶止セシムルコト必シモ不可能ノ行爲ニ非ス要スルニ本論旨ハ原審ノ職權ニ屬スル事實ノ認定ヲ非難スルモノニシテ上告適法ノ理由ト爲ラス

○妻ノ職業罷免ノ告知

町會議員選舉罰則違犯事件(大正六(九)第一八五五號)
(大正六(九)二一、第一刑事部判決)

上告趣意書第一點原判決ノ認定シタル事實ハ被告ハ大正六年四月施行セラレタル武生町會議員選舉ニ付其候補者タリシ壁谷留吉ノ爲メ運動ニ從事中同月八日同所選舉人納村佐太郎ノ妻ニシテ町小使ヲ勤務セルサノナルモノニ出會シ同人ニ對シ云々ノ旨告知シサノノ通告ニヨリ其夫佐太郎ヲシテ廣田廣吉ニ投票スルニ於テハサノノ町小使ヲ罷免セラルヘキ虞アル事ノ念ヲ懷カシメテ佐太郎ヲ威逼シタルモノナリト云

フニ在リ然レトモ第一、被告カ佐太郎妻サノニ告知シタル事カ更ニ如何シテ夫佐太郎ニ傳達セラレタルヤ詳言スレハ何レノ日何レノ場所ニ於テ如何ナル方法ニ依リ佐太郎ニ通告セラレタルヤニ關シテハ原判決ハ何等叙述スル所ナキヲ以テ被告ノサノニ對スル行爲カ夫佐太郎ヲ威逼スルニ至リタル事實上ノ連絡ヲ知ルニ由ナク第二、人ノ職務ヲ罷免セラルヘシト告知スル事カ其本人ヲ威逼スルニアラスシテ他人タル其夫ヲ威逼スルモノナリトスルニハ須ク其妻ノ職務ノ罷免カ夫ニ對シ如何ナル影響ヲ來スヤノ特殊ナル事情存在セサルヘカラス原判決ハサノノ罷免セラルヘシトノ虞カ夫佐太郎ニ如何ナル害惡トナルヤヲ判示スルコトナキヲ以テ判示事實ノミニヨリテハ何カ故ニ佐太郎ヲ威逼シタルモノトナルヤヲ了解スヘカラス即チ原判決ハ事實理由ヲ具備セサル違法ノ裁判ナリト云フニ在レトモ○所論納村サノニ對スル告知ノ旨趣ハ其夫タル納村佐太郎ニ自カラ通知セラレタルコト判文上之ヲ解スルニ難カラス而シテ妻ニ對スル失職ノ告知ハ其夫ヲシテ畏怖ノ念ヲ生セシムルコト現時社會生活ノ實狀ニ照シ之ヲ推知スルニ餘アレハ論旨第一、第二、共ニ理由ナシ

○間接ノ方法ニ依ル威逼

町村會議員選舉罰則違犯事件(大正六(れ)第三一八九號)
(大正七、三、二、第三刑事部判決)

原判旨ニ依レハ被告ハ選舉人ノ妻ニ對シ威逼手段ヲ執リタルニ止マラス其妻ヲ介シテ選舉人勇治郎ニ對シ威逼ヲ爲シタルモノナルヲ以テ其所爲ハ衆議院議員選舉法第八十八條第三項ニ該當スルコト明カナリ同法第八十七條ニ間接ノ場合ヲ規定セルハ特ニ教唆ノ場合ヲモ同條ニ依リ處罰スヘキコトヲ明示シ舊刑法教唆規定ノ解釋ニ關スル疑問ヲ解キタル注意規定タルニ止マルカ故ニ右選舉法第八十八條ニ間接ノ場合ヲ明示セサルモ本件ニ付キ同條ヲ適用スルヲ妨クルモノニアラス論旨理由ナシ

○虚偽ノ事實ニ依ル威逼

村會議員選舉罰則違犯事件(大正七(れ)第二〇六號)
(大正七、三、二、第三刑事部判決)

案スルニ人ヲ威迫スルニハ虚偽ノ事實ヲ主張スルコト寧ロ通例ナルヲ以テ判示ノ如

ク虚偽ノ事實ニ依リ債權關係ヲ利用シテ選舉人ヲ威逼シテ投票ヲ爲サシメタル場合ニハ第八十八條第三號ヲ適用スルヲ相當トス

(参照) 第二審判決要旨

被告市五郎ハ大正六年十月二十一日肩書居村ニ於テ執行セラレタル村會議員二級選舉ニ際シ其候補者近藤嘉十郎ノタメニ選舉運動中同月十八九日頃有權者原田與一ニ對シ候補者ニ投票センコトヲ依頼シタル上同人カ居村高川原信用購買組合ニ加入シ同組合ニ對シ若干圓ノ負債アルコトヲ知り其愚昧ナルニ乘シ同人ヲ欺キ嘉十郎ニ投票セシメント欲シ同月二十日頃被告方ニ於テ同人ニ對シ今回ノ投票用紙ニハ透シノ仕掛アリテ誰カ何人ヲ投票シタルカハ直ニ判明スル故若シ貴殿ニシテ嘉十郎以外ノ者ニ投票セハ其事發覺スヘク然ルトキハ貴殿ハ購買組合ヨリ除名セララルノミナラス貴殿ノ同組合ニ對スル負債ハ差押處分ニ因リテ取立テラルヘキ旨虚構ノ事實ヲ申聞ケ同人ヲシテ誤信セシメタル結果嘉十郎ニ投票スルニ至ラシメタル事ノナリ云々

◎第八十九條

○投票表示罪ノ成立

村會議員選舉罰則違反事件(大正六(九)第二三二七號
大正六(一)二九、判決)

因テ案スルニ衆議院議員選舉法(以下單ニ選舉法ト稱ス)第八十九條ハ選舉事務ニ關係アル官吏吏員其他所定ノ者カ選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタル所爲ヲ處罰スル規定ニシテ選舉事務ニ關係ヲ有スル者カ開票以前ニ於テ投票セラレタル被選舉人ノ氏名ヲ表示スルハ法ノ精神トナス選舉ノ秘密ヲ侵ス所以ナレハ上叙ノ所爲ヲ禁止スルモノトス故ニ前示法條ハ開票ニ因リテ投票セラレタル被選舉人ノ氏名カ表示セラレタル以後ニ於テ復其適用ナキコトハ論ヲ俟タス

○開票後ニ於ケル投票ノ開示

町村會議員選舉罰則違反事件(大正六(九)第二三二七號
大正六(一)二九、第二刑事部判決)

衆議院議員選舉法(以下單ニ選舉法ト稱ス)第八十九條ハ選舉事務ニ關係アル官吏、吏員其他所定ノ者カ選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタル所爲ヲ處罰スル規定ニシテ選舉事務ニ關係ヲ有スル者カ開票以前ニ於テ投票セラレタル被選舉人

ノ氏名ヲ表示スルハ法ノ精神ト爲ス選舉ノ秘密ヲ侵ス所以ナレハ上叙ノ所爲ヲ禁止スルモノトス故ニ前示法條ハ開票ニ因リテ投票セラレタル被選舉人ノ氏名カ表示セラレタル以後ニ於テハ復々其適用ナキコト論ヲ俟タス然ラハ原判決ニ於テ公訴事實トシテ説示シアル村會議員選舉ニ付選舉長タル被告朝尾實カ被告平尾兵太郎等ノ要求ニ應シ開票後ニ於テ落選者堀江兵市ニ對スル投票全部ヲ開示シ以テ同人ニ投票シタル選舉人ノ氏名ヲ認知シ得ヘキ状態ニ措キタル所爲ハ選舉法第八十九條規定ノ場合ニ該當セサルハ勿論寧ろ選舉人ノ氏名ヲ推知セシムル所爲ニシテ選舉法其他ノ法令ニ於テ之ヲ處罰スル規定存セサルヲ以テ公訴ニ係ル被告實ノ所爲ハ犯罪ヲ構成セス從テ被告實ノ所爲ヲ教唆シタル被告兵太郎等ノ所爲モ亦罪ト爲ラス

◎第九十條

○第九十條ノ罪ノ成立

村會議員選舉罰則違反事件(大正七(九)第一七二〇號
大正七(七)八、判決)

案スルニ村會議員選舉ニ際シ選舉立會人タル者カ候補者某甲ニ投票スルコトヲ承諾シタル各選舉人ヲシテ投票用紙ニ記載シタル被選舉人ノ氏名ヲ自己（立會人）ニ認知セシムヘキ方法ヲ講シ以テ豫期ノ投票ヲ確實ナラシメンコトヲ圖リ其各選舉人ニ對シ投票所ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタル投票用紙ヲ折り疊マス持行クコトヲ他人ニ依頼シテ申傳ヘ之ヲ諾シタル各選舉人ニ於テ申傳ノ趣旨ニ從ヒ選舉期日投票所ニ於テ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記シ之ヲ折り疊マスシテ立會人ノ前ニ持行キ認知セシメタルトキハ此場合ニ各選舉人ハ元來叙上ノ行為ニ出ル意嚮ナキニ拘ラス之ヲ誘導シテ投票所ニ於テ特ニ被選舉人ノ氏名ヲ記シタル投票用紙ヲ折り疊マスシテ立會人ノ前ニ持行カシメ立會人ノ認知ニ供セシメタルモノナルヲ以テ他人ニ依頼シ選舉人ヲシテ叙上ノ行為ニ出テシメタル者及依頼ノ趣旨ヲ選舉人ニ傳ヘ選舉人ヲシテ右行為ニ出テシメタル者ハ皆衆議院議員選舉法第九十條ノ投票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ニ該當シ選舉人カ叙上ノ行為ヲ爲スニ付キ任意承諾ヲ爲シタルコトハ選舉ノ公正ヲ害スル危險アル行為ヲ處

○被選舉人ノ氏名ヲ認知スル方法ヲ行フノ時期

衆議院議員選舉法違反事件（大正四（れ）第二六三號）
（大正四、一、六、判決）

衆議院議員選舉法第九十條第一項ハ投票ノ適法ナル開披ニ至ル迄ノ間投票所又ハ開票所ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ認知スル方法ヲ行ヒタルモノハ選舉人カ投票ヲ認め之ヲ投票函ニ投入ノ前被選舉人ヲ認知セシカ爲メナルト其後ニ於テ開票ニ至ル迄ニ之ヲ認知センカ爲メナルトヲ問ハス等シク處罰スヘキ法意ナリト解セサル可ラス本件原判決ノ認定事實ニ依レハ被告鷹藏留吉ハ投票所ニ於テ選舉人カ投票ノ爲メ被選舉人ノ氏名ヲ認ムル際之ヲ認知センカ爲メ不正ナル投票所ノ設備ヲ爲シタル事實ニ外

ナラサレハ原裁判所カ之ニ對シ衆議院議員選舉法ノ右條項ヲ適用處斷シタルハ相當ニシテ原判決ハ擬律錯誤ノ違法アルコトナシ

縣會議員選舉罰則違犯事件(大正七(九)第一七二〇號)
(大正七、七、八、第二刑事部判決)

村會議員選舉ニ際シ選舉立會人タル者カ候補者某甲ニ投票スルコトヲ承諾シタル各選舉人ヲシテ投票用紙ニ記載シタル被選舉人ノ氏名ヲ自己(立會人)ニ認知セシムヘキ方法ヲ講シ以テ豫期ノ投票ヲ確實ナラシメンコトヲ圖リ其各選舉人ニ對シ投票所ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタル投票用紙ヲ折り疊マス持行クコトヲ他人ニ依頼シテ申傳ヘ之ヲ諾シタル各選舉人ニ於テ申傳ノ趣旨ニ從ヒ選舉期日投票所ニ於テ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記シ之ヲ折り疊マスシテ立會人ノ前ニ持行キ認知セシメタルトキハ此場合ニ各選舉人ハ原來叙上ノ行爲ニ出ル意嚮ナキニ拘ハラヌ之ヲ誘導シテ投票所ニ於テ特ニ被選舉人ノ氏名ヲ記シタル投票用紙ヲ折疊マスシテ立會人ノ前ニ持行カシメ立會人ノ認知ニ供セシメタルモノナルヲ以テ他人ニ依頼シ選舉人ヲシテ叙上ノ行爲ニ出テシメタル者及依頼ノ趣旨ヲ選舉人ニ傳ヘ選舉人ヲシテ右行爲

ニ出テシメタル者ハ皆衆議院議員選舉法第九十條ノ投票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ニ該當シ選舉人カ叙上ノ行爲ヲ爲スニ付キ任意承諾ヲ爲シタルコトハ選舉ノ公正ヲ害スル危険アル行爲ヲ處罰シ選舉人ノ私益侵害ヲ要件トセサル同法條ノ犯罪ノ成立ニ消長ナキモノトス故ニ原判決カ上叙趣旨ノ事實ヲ認メテ依頼者タル稻田清作ノ行爲ヲ同法條ニ問擬シタルハ正當ニシテ被依頼者タル各被告人ノ行爲モ同シク同法條ノ罪ノ正犯ニ該當スルモノトス

○第九十條第一項ノ犯罪ノ構成

郡會議員選舉罰則違犯ノ件(大正九(九)第一四八八號)
(大正九、九、一〇、宣告)

衆議院議員選舉法第九十條第一項ノ規定ハ選舉ノ公正及ヒ秘密ヲ保護スルノ目的ニ出テタルモノナルコト疑ヲ容レサルノミナラス該法定ニハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者トアリテ之ニ依リテ開票前ニ被選舉人ノ氏名ヲ認知シタル事實アルヲ必要トスル趣意ノ見ルヘキモノナキニ徴スレハ苟モ原制度ノ如キ方法(或

投票紙ノ一端ニ朱肉又ハ墨肉ヲ以テ指紋ヲ付シ被選舉人ノ氏名ヲ認知スニ依リテ
或ル選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ知り得タル以上ハ其認知ノ時期及ビ場所
カ右方法施行ノ時期及場所ト全然同一ナルト否トヲ問ハス從テ選舉ニ關スル犯罪行
爲トシテ之ヲ處罰スル當然ナリト解スルヲ相當トス

○第九十條正當ノ事由ノ意義

村會議員選舉罰則違反ノ件(大正一〇(九)第二二七五號
大正一一、三、一一、宣告)

被告ハ居村村會議員選舉投票所ニ於テ專ラ選舉長トシテ選舉事務ニ從事中同議員一
般選舉有權者七名ニ對シ各別ニ投票用紙ヲ交付スルニ當リ候補者某ニ投票セシメ同
人ヲシテ當選セシメル目的ヲ以テ同人ノ氏名ヲ記載シタル各名札在中ノ封筒ヲ投票
用紙ト共ニ交付シタルモノナルヲ以テ其ノ行爲ハ衆議院議員選舉法第九十條第一項
ニ所謂投票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シタルモノト謂ハサル
ヲ得ス蓋シ選舉長カ村會議員候補者ノ氏名ヲ記載セル名札在中ノ封筒ヲ選舉人ニ交
付スルカ如キハ縱令所論ノ如ク其ノ慣行ニ基ク協議ノ結果ニ出テ且豫メ選舉人ニ於
テ其ノ議ニ參加シタルトスルモ投票所ニ於テ投票ノ自由公正ヲ保持スル目的ニ成レ
ル同條項規定ノ精神ニ反スルモノナルカ故ニ所謂ノ事情ハ同條項ニ所謂正當ノ事由
ト爲スニ足ラス

○第九十一條

○第九十一條犯罪ノ構成

郡會議員選舉罰則違反ノ件(大正九(九)第三三〇號
大正九、三、三〇、宣告)

改正前ノ衆議院議員選舉法第九十一條第一項ニ起定スル選舉會場投票所若クハ開票
所ヲ騷擾スル罪ハ一人若クハ數人カ所定ノ場所ニ於ケル靜謐状態ヲ攪亂シ選舉會又
ハ投票若クハ開票ノ平穩ニ施行セラルルコトヲ妨碍スルニ因リ成立シ多衆ノ參加ヲ
必要トセス而シテ多衆集會シ前掲ノ罪ヲ犯シタルトキハ同條第二項ノ罪ヲ構成スヘ
ク第一項ノ罪ニ該當セス

◎第九十六條

◎第九十六條但書ノ解釋

衆議院議員選舉法違反ノ件(大正九(九)第二四四〇號)

衆議院議員選舉法第九十七條ニハ當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ演說又ハ新聞紙雜誌等ニ議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル者ハ云々新聞紙雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依レハ規定トシ同法第九十六條但書ニハ新聞紙雜誌ニ在リテハ仍其編輯人及實際編輯ヲ擔當シタル者ヲ罰スト規定セルヲ以テ第九十七條本文ノ罪ノ成立スルニハ當選妨害ノ目的ヲ有シ且議員候補者ニ對シ公ニシタル事項カ虛偽ナルコトノ認識アルヲ必要トスルモ同條但書ノ場合ニ於テハ本文虛偽事項ノ掲載セラレタル新聞紙雜誌ノ編輯人及實際編輯擔當者ハ如上目的及認識ノ有無ニ關セス單ニ編輯人トシ署名シ若クハ現實編輯事務ヲ擔當シタルノ故ヲ以テ本文ノ實行正犯者ト同シク處斷セラル可キモノト解セサル可ラス

◎第九十七條

◎議員候補者ノ意義

縣會議員選舉罰則違反事件(大正六(九)第一〇八五號)

衆議院議員選舉法第九十七條ニ所謂議員候補者トハ自ラ議員候補者タルコトヲ宣言シ又ハ自己ヲ候補者トシテ外部ニ發表スル其他ノ行爲ヲ爲シタル者若クハ他人ヨリ議員候補者トシテ推薦ヲ受ケタル者ヲ指稱スルカ故ニ上叙ノ如ク自己紹介若クハ推薦ノ行爲アリタル以上ハ未タ所論ノ如ク選舉運動ニ着手セサル以前ニ於テモ仍ホ議員候補者ト稱スルヲ妨ケス

衆議院議員選舉法違反ノ件(大正一〇(九)第一二〇五號)

選舉ニ際シテ立候補ノ意思ヲ有シ且ツ他人ヨリ議員候補者トシテ推薦セラレタル者ノ如キハ衆議院議員選舉法ニ所謂議員候補者中ニ包含スルモノト解スルヲ以テ選舉ノ公正ヲ期スル同法ノ旨趣ニ適合スルモノトス

○第九十七條ニ所謂虚偽ノ事項ノ意義

衆議院議員選舉法違反ノ件(大正九(レ)第二四四〇號
大正九、一、二、三、三、宣告)

所謂衆議院議員選舉法第九十七條ニ所謂虚偽ノ事項中ニハ直接議員候補者自身ニ關スル事項ノミナラス間接事項ト雖モ苟モ其事項カ候補者ニ關連シ之ヲ公表スルコトカ候補者ノ議員當選ヲ妨クルニ至ルヘキ性質ノモノナル以上ハ總テ之ヲ包含スルモノト解スルヲ相當トス

○虚偽ノ事項ノ公布

衆議院議員選舉法違反事件(明治四一(レ)第一一〇八號
明治四二、二、一、判決)

依テ案スルニ如何ナル手段ニ依ルヲ問ハス當選ヲ妨ケンカ爲メ議員候補者ニ關シテ虚偽ノ事項ヲ公ニシタルトキハ衆議院議員選舉法第九十七條ニ依リ處罰セラルヘキ犯罪ハ完全ニ成立スルモノタルコト辯ヲ俟タス而シテ右法條ハ所謂當選ヲ妨クルノ

目的カ如何ナル觀念ヨリ胚胎シタルヤノ點ニ付テハ何等制限スル所ナキカ故ニ苟クモ原判決所認ノ如ク被告ニ於テ衆議院議員候補者本檜三四郎ノ當選ヲ妨ケンカ爲メ新聞紙ヲ以テ同人ニ關シ虚偽ノ事項ヲ公ニシタル以上ハ其當選ヲ妨クルノ目的カ同人ノ人格下劣ニシテ衆議院議員タル品位ナク國民ノ代表タルニ適セストノ觀念ヨリ生シタルモノト假定スルモ右ハ毫モ本件犯罪ノ成立ヲ妨クヘキ原由ト爲ラサルモノトス況ンヤ本件被告カ右三四郎ノ當選ヲ妨クルノ目的ハ前掲ノ觀念ヨリ生シタルモノニアラスシテ畢竟被告ト右同人トノ間新聞事業ニ關シ互ニ不快ノ念ヲ抱キ居タル點ヨリ胚胎シタル事實ナルコト原判決事實理由説明ノ趣旨ニ徴シテ明カナルニ於テオヤ故ニ本論旨ハ理由ナシ

○虚偽ノ事項ノ内容

縣會議員選舉罰則違反事件(大正六(レ)第一〇八五號
大正六、五、二八、第二刑事部判決)

衆議院議員選舉法第九十七條ノ罪ハ當選ヲ妨害スル目的ニ於テ口頭又ハ文書其他ノ

方法ヲ以テ議員候補者ニ關シテ虚偽ノ事項ヲ公示スルニ因リテ成立スルヲ以テ其公
 示シタル虚偽ノ事項カ性質上當選妨害ノ虞アルモノナルコトヲ要スルヤ論ヲ俟タス
 當選ト何等交渉ヲ有セサルニ於テハ其行爲ハ當選妨害ノ目的ニ出テタルモノト謂フ
 ヘカラス本罪ハ成立セサルモノトス然レトモ原判決ノ認定セル事實ニ據レハ被告カ
 新聞紙上ニ於テ縣會議員候補者田中猪作ニ關シテ公示シタル虚偽ノ事項ハ田中猪作
 ハ憲政會ノ公認候補者トシテ名乗ヲ揚ケ居レトモ實ハ然ラス同人ハ自ラ後藤内相ト
 特別關係アルカ故ニ當選スル迄カ憲政會ノ公認候補ニシテ當選後ハ憲政會ニ與セス
 ト言明シタルコトアリト云フニ在リ讀者ヲシテ直チニ田中猪作ハ節操ヲ二三ニスル
 反覆恒ナキ陋劣漢ニシテ縣政ニ參與セシムルノ人物ニ非ストノ念ヲ抱カシメ因リテ
 憲政會派ニ屬スル選舉有權者ノミナラス一般選舉有權者ヲシテ其人格ニ慊焉トシテ
 同人ニ投票スルヲ踟躕セシムルニ足ルヲ以テ右虚偽ノ事項ハ當選ヲ妨害スルノ虞ア
 ルモノト謂ハサルヘカラス既ニ然リトスレハ判示虚偽ノ事項カ當選ヲ妨害スヘキ性
 質ヲ有スルコトヲ説示セサルモ右虚偽ノ事項ヲ公示セサルハ田中猪作ノ當選ヲ妨ク

ル目的ニ出テタルコトヲ認ムルニ妨ケアルコトナケレハ本論旨ハ理由ナシ

衆議院議員選舉法違犯事件(大正六(九)第二二四三號
 大正六、一〇、一八、第二刑事部判決)

原判決ノ認ムルカ如ク新聞紙ノ編輯人タル被告人カ衆議院議員選舉ニ際シ政戰大勢
 鈴木派ノ陋策ト題シ御本尊鈴木氏モ何等政見ラシキモノヲ發表セス増田氏ハ既ニ當
 選圈ヲ超ヘ居ル故増田氏ノ投票ヲ分配サレタキ旨低頭平身シ心アル人々ハ其見識ノ
 卑劣ナルニ呆レ果テ居ル旨ノ反對派憲政會所屬候補者鈴木富士彌ニ關スル虚偽ノ記
 事又ハ井上派ノ檢舉ト題シ憲政會井上派ノ運動員ハ買収ニ着手シタルヲ發見サレ拘
 引セラレタル旨ノ反對派憲政會所屬候補者井上剛一ニ關スル虚偽記事ヲ新聞紙ニ掲
 載シテ之ヲ世ニ公ニスルニ於テハ叙上各反對候補者ハ自己ニ不利益ナル事實ヲ傳播
 セラルル結果トシテ其當選ヲ妨害セラルヘキハ當然ノ事理ナルヲ以テ原判決ニ於テ
 右虚偽ノ記事ヲ以テ各候補者ノ當選ヲ妨害スヘキモノト認メタルハ正當ナリ論旨ハ
 理由ナシ

衆議院議員選舉法違反事件（大正六（れ）第二二二六號）

（大正六（れ）第二二二六號）
第三刑事部判決

衆議院議員選舉法第九十七條ニ所謂議員候補者ニ關スル虛偽事項ナルモノハ所論ノ如ク必スシモ候補者自身ノ言動若クハ候補者ニ責任ヲ負ハシムヘキ行爲ニ關スル虛偽事項ノミヲ云フモノニアラスシテ苟クモ候補者ニ關係ヲ及ホスヘキ事項ニシテ之ヲ公表スレハ候補者ノ當選ヲ妨害スルニ至ルヘキ性質ヲ有スル虛偽ノ事項ハ總テ包含セラルヘキ趣旨ナルコト當院判例ノ認ムル所ナリ原判決ニ依レハ被告ハ磯田彙三郎ノ當選ヲ妨害スルノ目的ヲ以テ其發行兼編輯ニ係ル新聞紙上ニ於テ嘗テ選舉區タル奈良市ノ預金者ニ多大ノ損害ヲ與ヘ又經營困難ノ爲メ解散シタル銀行ノ重役又ハ行員カ彙三郎ノ運動員或ハ運動ノ指揮畫策ノ任ニ當リ若クハ有力ナル運動員ト爲リタルコトナキニ其之レアルモノノ如ク虛偽ノ事項ヲ掲ケタルモノニシテ選舉區民ニ信望ヲ失スルモノカ其選舉運動ヲ爲スト云フカ如キハ延テ累テ候補者ニ及ホシ其當選ノ妨害ト爲ルハ當然ノ事理ナルヲ以テ右掲載事項ハ候補者ニ關係ヲ及ホシ之レカ公表ハ當選ヲ妨害スルニ足ルモノト云ハサル可ラス從テ原判決ノ擬律ハ相當ニシテ

論旨ハ理由ナシ

市會議員選舉罰則違反事件（大正八（れ）第六四七號）

（大正八（れ）第六四七號）
第一刑事部判決

上告趣意書第一點原判決ニヨレハ被告ノ所爲ヲ「酒井泰ノ當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ小森七兵衛推薦演說會ニ於テ他山ノ石我玉ヲ磨ク等ノ演題ノ下ニ右酒井泰ニ關シ同人ノ貧困ハ實ニ想像以上ニシテ同人ハ其有ナル電話ヲ擔保トシテ小坂梅吉ヨリ這回ノ選舉運動費ヲ融通シ居レルモノナル旨ノ虛偽ノ事項ヲ演說シ以テ之ヲ公ニシタルモノナリ」ト認定シ市制第五十一條並ニ衆議院議員選舉法第九十七條ニヨリ之ヲ處斷シタリ依テ右衆議院議員選舉法第九十七條ヲ閱スルニ「當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ……虛偽ノ事項ヲ公ニシタル者ハ云々」トアリテ本件犯罪ノ當選ヲ妨クルノ目的ニ出テタルコトヲ其成立ノ必要條件ト爲セルナリ既ニ當選妨害ノ目的ニ出テタルヲ要スル以上ハ其ノ公ニシタル事項自體ニ於テ當選ヲ妨害シ得ル能力アルヲ要スルヤ必セリ然ルニ右認定ニヨレハ單ニ「同人ノ貧困ハ想像以上ニシテ同人ハ其有

ナル電話ヲ擔保トシテ小坂梅吉ヨリ選舉運動費ヲ融通シ居レル者ナル旨ヲ演說シタルニ過キスシテ如斯ノ事項ハ社會ノ同情ヲ得ルコソスレ斷シテ當選妨害ノ力ヲ有スルモノニ非ルヲ以テ右法條ノ犯罪ヲ構成スルモノニ非サル也果シテ然ラハ原判決ハ罪トナラサル事實ニ基キ被告ヲ處罰シタル不法アルヲ免レサル也ト云フニ在リ○然レトモ原判決カ認メタル被告カ判示東京市會議員ノ選舉ニ際シ京橋區選出同議員候補者酒井泰ノ當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ判示日時場所ニ於テ公ニシタル判示虚偽ノ事項ハ候補者酒井泰ノ當選ヲ妨害スルモノト謂ハサルヘカラス蓋シ同人ニシテ被告所說ノ如ク貧困者ナリトセムカ縱令同人カ市會議員ニ當選スルモ或ハ其體面ヲ汚スカ如キ行爲ヲ爲シ若シクハ日々ノ生活ニ遂ハレ又他ヲ顧ミルノ違ナク爲メニ其職務ヲ完全ニ盡スコトヲ得サルヘシトノ念慮ヲ選舉人ニ出セシメ候補者酒井泰ニ投票スルコトヲ躊躇セシムルニ至ルハ數ノ免レサル所ナレハナリ然ラハ原審カ判示被告ノ所爲ヲ市制第四十條第一項衆議院議員選舉法第九十七條ニ該當スルモノト認メ同法條ニ問擬シタルハ至當ナリ

○虚偽ノ他人ノ思想又ハ意見ノ公表

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(九)第八三二號
大正四(五)七(七)判決)

上告趣意書第二點原判決ハ第一、「代議士ニ成ツテカラ家モ屋敷モ賣ル程度ノ貧乏シタカラ今一度再選シテ貫ヒ度イトノ泣言ヤヲ愚痴ヲ公衆ノ面前テ臆面モナク饒舌ツタ」第二、「一面ニ八木ハ代議士ニ成ツタラ金儲ケカ出來ル考テアツタノテアル」第三、「僅カニ縣會議員テモ、ダモノ況ンヤ代議士ニ於テヲヤテナ態鷹式テアツタ」ナル三句ヲ以テ之レニ該當スルモノト認メタルモノノ如シ然レトモ(中略)第二、第三句ハ筆者カ八木候補ノ思想ヲ想像シテ之ヲ記載シタルニ過キスシテ何等虚偽事項ノ發表アルニアラス云々ト云フニアレトモ○他人ノ思想若クハ意見ト雖モ之ニ關シテ虚偽ノ事項ヲ公表スルニ於テハ衆議院議員選舉法第九十七條ニ所謂虚偽ノ事項ヲ公ニシタルモノニ該當シ必スシモ具體的事項ヲ表示スルコトヲ要セサルモノトス

○議員候補者自身ニ關セサル虚偽ノ事項ノ公表

衆議員議員選舉法違反事件(大正四(九)第一七五二號
大正四(八)一四一四、判決)

衆議院議員選舉法第九十七條ニ所謂當選ヲ妨クル目的ヲ以テ云々議員候補者ニ關シ云々虚偽ノ事項ヲ公ニシタル者トアルハ直接議員候補者自身ニ關スル事項ノミナラス間接事項ト雖モ苟モ其事項カ候補者ニ關連シ之ヲ公表スルコトカ候補者ノ議員當選ヲ妨クルニ至ルヘキ性質ノモノナル以上ハ總テ之ヲ包含スルモノト解スルヲ相當トス所論原判決認定事實ニ依レハ被告ハ議員候補者原本大三郎ヲ推薦シタル飯塚棟太郎ノ署名ヲ使用シ其推薦ヲ取消ス旨ノ廣告ヲ新聞紙ニ掲載セシメ之ヲ公表シタルモノニシテ候補者ノ推薦ヲ取消スカ如キハ候補者其人ニ多少ノ短所アルコトヲ暗示スルト同時ニ其信用ヲ薄弱ナラシムル因ト爲ルヘク當選ノ妨害ヲ豫期シ得ヘキ事項ト云フモ不可ナル處ナキノミナラハ被告カ右大三郎ノ當選ヲ妨クル目的ヲ以テ推薦取消廣告ヲ掲載セシメタルモノナルコトハ所論原判文證據説明中被告第三回豫審調

書ノ供述記事ニ徴シ之ヲ認ムルニ難カラサルヲ以テ原判決ハ毫モ論旨ノ如キ擬律錯誤ノ違法アルコトナク又理由不備ノ不決アルコトナシ

○當選妨害ノ罪ノ成立

村會議員選舉法違反及脅迫事件(大正六(九)第二四〇一號
大正六(一)一、九、判決)

所論原判決ノ認定事實ハ乃チ被告カ當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ議員候補者ニ關シ多數ノ有權者ニ虚偽ノ事項ヲ言觸ラシタリト云フニ外ナラスシテ其方法ノ如何ハ固ヨリ衆議院議員選舉法第九十七條ノ問フ所ニ非サルヲ以テ同條ノ犯罪構成ニ於テ缺クル所ナク本論旨ハ理由ナシ

(參照) 原判示事實

被告磯五郎ハ東京府北多摩郡國分寺村村會議員選舉ニ際シ豫テ同村戸倉新田ニ於ケル右議員豫選會ニ於テ平野常吉カ二級候補者ニ推薦セラレタルトコロ其當選ヲ妨クル目的ヲ以テ常吉カ候補ヲ辭シタルコトナキヲ知リナカラ右四月九日同村戸倉新田及七平兵衛新田ノ有權者島田丑太郎外數名ヲ訪問シ常吉ハ候補者タルコトヲ辭シタリトノ旨ヲ告ケ議員候補者常吉ニ關スル虚偽ノ事項ヲ公ニシタルモノナリ

○第九十七條ノ犯罪ノ成立要件

縣會議員選舉罰則違犯ノ件(大正六(九)第一〇八五號)

衆議院議員選舉法第九十七條ノ罪ハ當選ヲ妨害スル目的ニ於テ口頭又ハ文書其他ノ方法ヲ以テ議員候補者ニ關シテ虛偽ノ事項ヲ公示スルニ因リテ成立スルヲ以テ其公示シタル虛偽ノ事項カ性質上當選妨害ノ虞アルモノナルコトヲ要スルヤ論ヲ俟タス當選ト何等交渉ヲ有セサルニ於テハ其行爲ハ當選妨害ノ目的ニ出テタルモノト謂フヘカラス本罪ハ成立セサルモノト然レトモ原判決ノ認定セル事實ニ據レハ被告カ新聞紙上ニ於テ縣會議員候補者田中猪作ニ關シテ公示シタル虛偽ノ事項ハ田中猪作ハ憲政會ノ公認候補者トシテ名乗ヲ掲ケ居レトモ實ハ然ラス同人ハ自ラ後藤内相ト特別關係アルカ故ニ當選スル迄カ憲政會ノ公認候補ニシテ當選後ハ憲政會ニ與セスト言明シタルコトアリト云フニ在リ讀者ヲシテ直チニ田中猪作ハ節操ヲ二三ニスル反覆常ナキ陋劣漢ニシテ縣政ニ參與セシムルノ人物ニ非ストノ念ヲ抱カシメ因リテ

憲政會派ニ屬スル選舉有權者ノミナラス一般選舉有權者ヲシテ其人格ニ慊焉トシテ同人ニ投票スルヲ踟躕セシムルニ足ルヲ以テ右虛偽ノ事項ハ當選ヲ妨害スルノ虞アルモノト謂ハサルヘカラス既ニ然リトスレハ判示虛偽ノ事項カ當選ヲ妨害スヘキ性質ヲ有スルコトヲ說示セサルモ右虛偽ノ事項ヲ公示セルハ田中猪作ノ當選ヲ妨クル目的ニ出テタルコトヲ認ムルニ妨ケアルコトナケレハ本論旨ハ理由ナシ

○第九十七條ノ犯意

衆議院衆員選舉法違犯 件(大正四(九)第一四六八號)

衆議院議員選舉法第九十七條ノ罪ハ當選ヲ妨害スル目的ヲ以テ議員候補者ニ關スル虛偽ノ事項ヲ公ニスルニ因リテ成立スルカ故ニ同罪ノ成立スルニハ當選妨害ノ目的ト議員候補者ニ關シテ公ニシタル事項カ虛偽ナルコトノ認識トノ存在ヲ必要トスルヤ論ヲ俟タス故ニ新聞紙ニ依リテ議員候補者ニ關シテ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル場合ニ於テ現實ニ右記述ノ通信編輯又ハ掲載ノ任ニ膺リタル者ニ對シテ其罪ヲ論セントスル

ニハ如上要件ノ存在ヲ證明セサルヘカラス然レトモ新聞紙ニ署名シタル編輯人ハ當該記事ノ虛偽ナルコトヲ認識シタルト否ト又當選妨害ノ目的ヲ有シタルト否トヲ論セス其記事ヲ掲載シタル新聞紙ノ署名編輯人タルノ理由ヲ以テ選舉法第九十七條末段及ヒ同第九十六條但書ニ依リ第九十七條ノ實行正犯ト同シク處斷セラルヘキモノトス

○虛偽ノ事項ヲ公ニスルノ意義及方法

郡會議員選舉違犯事件(大正四(れ)第三二三〇號
大正五、一、三一、判決)

衆議院議員選舉法第九十七條ノ犯罪ハ其手段方法ノ如何ヲ問ハス當選ヲ妨害スル目的ヲ以テ議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニスルニ因テ成立スルモノニシテ同條ニ所謂「公ニシ」トハ虛偽ノ事項ヲ不定若クハ多數ノ人ニ對シ告白スルノ謂ナリトス而シテ原判決認定事實ハ要スルニ被告ハ郡會議員候補者圓谷平造ノ當選ヲ妨害スル目的ヲ以テ大正四年九月二十七日城南村役場ニ於ケル候補選定交渉委員會席上ニ於テ

村長及交渉委員等ニ對シ右平造カ候補ヲ辭退セス從テ同人ヨリ候補辭退發表ノ權限ヲ委任セラレタルコトナキニ拘ハラヌ之ヲ委任セラレタル旨詐リ擅ニ平造ノ候補辭退ヲ公言シ尋テ村長酒井坦三郎ニ託シ交渉委員五名ノ名義ヲ以テ圓谷候補カ候補ヲ辭退セシ旨ノ事項ヲ記載セル謄寫摺三十餘枚ヲ作成シ同村有志ニ配付セシメ以テ虛偽ノ事項ヲ公ニシタルモノナリト云フニ在リテ被告ハ當選妨害ノ目的ヲ以テ先ツ候補選定交渉委員會ノ席上ニ於テ村長及交渉委員等ニ言語ヲ以テ虛偽ノ事項ヲ告ケ尋テ村内有志ノ者ニ謄寫摺三十餘枚ヲ配付シ之ヲ通告シタルモノ即チ虛偽ノ事項ヲ多數ノ人ニ告白シタルモノナレハ被告ニ於テ前記第九十七條ノ罪責ヲ免ルルヲ得サルモノトス

村會議員選舉罰則違犯事件(大正六(れ)第二四〇一號
大正六、一、九、第一刑事部判決)

原判決ノ認定事實ハ乃チ被告カ當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ議員候補者ニ關シ多數ノ有權者ニ虛偽ノ事項ヲ言觸ラシタリト云フニ外ナラスシテ其方法ノ如何ハ固ヨリ衆議院議員選舉法第九十七條ノ問フ所ニ非サルヲ以テ同條ノ犯罪構成ニ於テ缺クル所

ナク本論旨ハ理由ナシ

○同一ノ新聞紙面ニ於テ議員候補者タル甲乙二人ニ關スル虚偽ノ事項ヲ掲載シタル場合ノ處分

縣會議員選舉罰則違反ノ件(大正六(れ)第一〇八五號)

第三點原判決ノ法律理由ニ依レハ被告兩名カ石川又八ノ當選ヲ妨クル目的ヲ以テ新聞紙上ニ又八カ縣會議員候補ヲ斷念スルコトニ決定シタリトノ虚偽ノ事項ヲ云々淳一ニ於テ發表シ以テ公ニシタリトノ公訴ニ付キテハ認ムヘキ證據十分ナラサルモ右前段有罪ト認定シタル公訴事實ニ牽聯スルモノナルヲ以テ特ニ無罪ノ言渡ヲ爲スヘキモノニ非スト説明スルモ被告ノ石川又八ニ對スル行爲ノ責任ト田中猪作ニ對スル行爲ノ責任トハ各其罪責ヲ異ニシ互ニ相牽聯スルモノニ非ス全ク各個獨立ノ行爲ナルカ故ニ石川又八ニ對スル公訴事實ニ付キ無罪ノ言渡ヲ爲ササル以上ハ第一審判決ヲ取消シタル原判決ハ其事實理由ニ於テ被告ノ石川又八ニ對スル罪責ニ付キ事實ヲ

説明セサルヘカラサルニ原判決カ事茲ニ出テサリシハ理由齟齬若クハ理由不備ノ違法アリ結局原判決ハ破毀ヲ免レサルモノト信スト云フニ在レトモ○本件起訴事實ハ被告カ同一ノ新聞紙面ニ於テ議員候補者タル田中猪作及石川又八ノ普選ヲ妨クル目的ヲ以テ各別ニ同人等ニ關シテ虚偽ノ事項ヲ掲載シ之ヲ公示シタリト云フニ在リ一箇ノ行爲ニシテ二箇ノ罪名ニ觸ルル案件ニ屬シ刑法第五十四條第一項前段ニ依リ一罪トシテ處斷スヘキモノニ該當スルコト明ナレハ田中猪作ニ關シテ虚偽ノ事項ヲ公ニシタル事實ノミヲ認メ石川又八ニ關スル事實ヲ認メサリシ原判決ニ於テ所論ノ如ク判示シ特ニ證據不十分ノ點ニ付キ無罪ヲ言渡ササリシハ相當ナリ本論旨ハ理由ナシ

○數名ノ議員候補者ニ關スル虚偽ノ事項ヲ公ニシタル場合ノ擬律

縣會議員選舉罰則違反事件(大正六(れ)第一〇八五號)

本件起訴事實ハ被告カ同一ノ新聞紙面ニ於テ議員候補者タル田中猪作及ヒ石川又八ノ當選ヲ妨クル目的ヲ以テ各別ニ同人等ニ關シテ虛偽ノ事項ヲ掲載シ之ヲ公示シタルト云フニ在リ一箇ノ行爲ニシテ二箇ノ罪名ニ觸ルル案件ニ屬シ刑法第五十四號第一項前段ニ依リ一罪トシテ處斷スヘキモノニ該當スルコト明ナレハ田中猪作ニ關シテ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル事實ノミヲ認メ石川又八ニ關スル事實ヲ認メサリシ原判決ニ於テ所論ノ如ク判示シ特ニ證憑不十分ノ點ニ付キ無罪ヲ言渡ササリシハ相當ナリ

◎第九十八條

○選舉人タルコトヲ得サル者

衆議院議員選舉法違犯事件(明治四三(九)第九二二號
明治四三(三)六、七、判決)

衆議院議員選舉法第三十八條ニハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ト雖モ自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得サル旨ノ規定アルヲ以テ本

條規定ノ無筆者ハ選舉ニ關シ投票ヲ爲スコト無ハサルハ勿論ナルモ苟クモ同法第八條ノ要件ヲ具備シ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ハ投票權ノ有無ニ拘ハラヌ之ヲ選舉人ト云フニ妨ケナキコトハ同法第十九條同第二十一條同第二十四條ニ於ケル選舉人ナル文字ノ用例ニ照シ明瞭ナルヲ以テ本法ニ所謂選舉人トハ選舉人名簿ニ登錄セラレタル有權者ヲ指稱シ投票能力者タルコトヲ要セサルモノト解スルヲ穩當トス從テ本案ノ如ク選舉有權者ニシテ選舉人名簿ニ登錄セラレタルモノ即チ選舉人ニ在リテハ縱シ同第三十八條第二項ノ規定ニ違反スル行爲アリタリトスルモ其投票ノ效力如何ハ措テ問ハス同第九十八條ノ罪ヲ構成スヘキモノニ非ラス

○情ヲ知ラサル選舉無權利者ヲ利用シタル間接正犯

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(九)第一四七八號
大正四(六)二八、判決)

原判決ノ認定スル事實ニ依レハ被告ハ曾テ職務上衆議院議員選舉人名簿ヲ作製シタル際過テ選舉權者中西熊次郎ノ登錄ヲ脱漏シタル爲メ同人ヲシテ選舉權ヲ行使スル

ヲ得サルニ至ラシムヘキヲ憂惧シ該名簿及關係書類ヲ偽造變造行使シテ其情ヲ知ラサル右熊次郎ヲシテ遂ニ投票ヲ爲サシメタルモノナレハ其所爲タルヤ該選舉法第九十八條中所謂選舉人タルコトヲ得サル者ニシテ投票ヲ爲シタル罪ヲ間接ニ實行シタルモノナルヲ以テ原判決カ被告ニ擬スルニ同條ノ罪ヲ以テシ尙ホ同法第百二條ヲ適用シタルハ正當ナリ

○第九十八條ノ罪ノ共同正犯ト實行行爲

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(レ)第一四一四號 大正四(レ)七(二)三(三)判決)

衆議院議員選舉法第九十八條ノ罪ノ如キハ數人ノ共謀者カ其中一部ノ者ヲシテ之レカ實行ノ任ニ當ラシメタルトキハ其一部ノ者ハ自己ノ犯意ノミナラス共同者全體ノ犯意ヲ遂行シ又其以外ノ者ハ右一部ノ者ニ依リテ各自己ノ犯意ヲ遂行シタルモノト謂ハサルヘカラサルヲ以テ同條後段ノ罪ニ付キ氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタルモノハ一人ナリトスルモ爾餘ノ共謀者モ亦刑法第六十條ニ所謂二人以上共同シテ犯罪ヲ

實行シタルモノトシテ處斷スヘキハ當然ニシテ教唆又ハ從犯ヲ以テ論スヘキモノニアラス故ニ論旨ニ掲ケタルト同一ノ事實ヲ認メテ共謀者タル被告三名ニ對シ前示法條ヲ適用シタル原判決ハ正當ナリ

公選投票偽造行使町村會議員選舉罰則違犯事件(大正六(レ)第一七一八號 大正六(レ)八(二)七(二)刑事部判決)

原判旨ニ依レハ被告等ハ小田貞次郎外二名ト共謀シ貞次郎ニ於テ氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタルモノナレハ犯罪實行ノ任ニ當リタルモノハ貞次郎一名ニシテ被告等ハ之ニ共同シタルコト明カナリ凡ソ數人ノ共謀者中一人カ犯罪實行ノ任ニ當リタルトキハ其行爲ハ共同者全體ノ犯意ヲ遂行シタルモノナレハ共謀者ハ刑法第六十條ニ所謂二人以上共同シテ犯罪ヲ實行シタルモノトシテ處斷セラルヘキモノトス原判決ハ前叙犯罪事實ニ付キ所論ノ法條ヲ適用シ被告等ヲ處罰シタルハ正當ナリ

○第九十八條後段ノ適用範圍

縣會議員選舉罰則違犯事件(大正五(レ)第一二四〇二號 大正五(レ)一(二)五(二)判決)

上告趣意書第一點衆議院議員選舉法第九十八條後段ノ規定ハ罪ノ主體カ選舉權者ナル場合ニ適用サルヘキモノニシテ被告永吉ノ如ク選舉權ヲ有セサルモノノ所爲ニ對シテハ同法條前段ノ規定ヲ適用處斷スルヲ正當トスヘク此點ニ關シ第二審判決ハ事實ノ認定法律ノ適用何レモ其當ヲ得サルモノニシテ到底破毀ヲ免レスト云フニ在レトモ○所論選舉法第九十八條後段ノ規定ハ犯罪ノ主體カ選舉權ヲ有スル者ナルト否トヲ問ハス氏名ヲ詐ハリ正當選舉權者ノ如ク裝ヒテ投票ヲ爲ス場合ニ適用スヘキモノナリ

○氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタル行爲ト選舉錄ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル行爲トノ關係

公選投票偽造行使町村會議員選舉罰則違犯事件(大正六(レ)第一七一(八)號 大正六(レ)八二七(二)刑事部判決) 氏名ヲ詐稱シテ投票シタル行爲ト選舉錄ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル行爲トハ各犯罪ノ性質上互ニ手段タリ若クハ結果タル關係ヲ有スルモノニアラス隨テ刑法第五十四條

第一項後段ニヨリ牽連犯ヲ以テ處斷スヘキモノニアラス原判決カ判示行爲ニ對シ同法條ヲ適用セス各獨立シタル犯罪トシテ併合罪ノ規定ヲ適用シタルハ正當ナリ

○第九十八條第二項ノ詐偽ノ方法ノ意義

衆議院議員選舉法違犯ノ件(大正九(レ)一八九五號 大正九(レ)一〇一五(一)宣告) 衆議員議員選舉法第九十八條第二項ニ所謂詐偽ノ方法トハ其上文ニ「氏名ヲ詐稱シ其他」トアルヲ直ニ承ケタル文詞ナレハ氏名詐稱以前ニ於テ投票管理者ヲ詐罔シ正當ニ投票ヲ爲シタル如ク信セシムヘキ諸般ノ不正手段ヲ汎稱スト解スヘキモノトス 衆議院議員選舉法違犯ノ件(大正九(レ)一〇一五(一)宣告) 衆議院議員選舉法第九十八條第一項ニ規定セル詐偽ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル罪ハ選舉人タル身分若クハ其他ノ資格ニ因リ構成スル罪ニ非サルモノトス

○投票數ノ増減ノ意義

村會議員選舉罰則違犯ノ件(大正一〇(レ)第一八四〇號
大正一一(一)一、二〇、宣告)

投票ノ有效ナルコト明瞭ニシテ全然反對ノ見解ヲ認容スル餘地ナキモノニ付罔ヒテ之ヲ無効ナリト決シ惹テ其ノ投票ニ付被選舉人ノ得タル票數ヲ減少スル結果ヲ致スニ於テハ選舉長タル者ノ行爲ハ投票ノ數ヲ減シタルモノトシテ町村制第三十七條第一項ノ準用ニ依ル衆議院議員選舉法第九十八條第三項第二項ニ該當スルモノト謂フヘク獨リ有形的ニ投票數ニ付不正ノ計算ヲ爲スニ因リ其ノ數ヲ減スルノミヲ以テ同條項ニ該當スルモノト爲スヘカラスト雖然レトモ之ト異リ投票ノ有效又ハ無効ニ付疑義アリテ解釋ノ餘地ヲ存スル場合ニハ之ヲ決スルコトカ選舉長ノ職權ニ因ル裁量ノ範圍ニ屬シ選舉長ニ於テ之ヲ有效ト決スルモ將タ之ヲ無効ト決スルモ皆適法ナル職權ノ行使ニ外ナラサルヲ以テ其ノ行爲ハ同條ニ規定スル投票數増減ノ罪ヲ構成スルコトナキモノトス

○不正ノ手段ニ依リ投票ノ數ヲ増減シタル場合

公選投票偽造事件(大正六(レ)第二八八〇號
大正七(二)一六、第三刑事部判決)

上告趣意書第一點原判決ハ「被告大吉ハ……選舉當日午後同村役場ニ於テ自ら選舉長トシテ一級選舉ヲ執行スルニ當リ其投票用紙中ノ四枚ノ欄外ニアロ、カイ、ナイ、等ノ細字ヲ記入シアル事ヲ熟知シ乍ラ反對派ノ投票ヲ減少スル目的ヲ以テ之ヲ適式ノ用紙ナルカ如ク裝ヒ政友派所屬選舉人ナル宮本繁藏龜谷竹松中田榮藏森脇定次郎ノ四名ニ夫々交付シ同人等ヲシテ之ヲ使用シテ投票ヲ爲サシメ同日開票ノ際右四票現ハレタルニ付キ其中ノ一票ニ關シ選舉立會人タル高島增隆龜田龜二森脇定次郎森本久太郎間ニ其有效無効ニ付キ可否半スルヤ該細字ハ當該選舉人ノ記入シタル者ニアラサルニ拘ラス選舉長トシテ右細字ハ選舉人ニ於テ爲シタル他事ノ記入ナリトシ爾餘ノ投票ハ立會人ヲシテ同様他事記入アルモノト認メシメ何レモ右他事記入無キハ有效タルヘキ投票ヲ無効ナリト決定シ反對派ノ得票ヲ減少シ云々」ト判示シ之ヲ舊刑法二百三十五條ニ間擬處斷シタリ然レトモ(中略)詐欺的行爲ヲ以テ選舉人ニ投票セシメタルモノニ該當シ町村制第三十七條ヲ以テ準用スヘキ衆議院議員

選舉法第八十八條第二號ヲ以テ處斷スヘキモノナルニ原判決ハ事茲ニ出テスシテ舊刑法第二百三十五條ヲ適用處斷シタルハ擬律錯誤ノ違法アルモノニシテ破毀スヘキモノトスト云フニ在レトモ○原判示事實ニ依レハ被告ハ選舉長トシテ一級選舉ヲ執行スルニ當リ反對派ノ投票ヲ減少セシムル目的ヲ以テ不正ノ手段ヲ施シ選舉人宮本繁藏外三名ノ投票ヲ無効ナラシメ以テ有效ナルヘキ投票ノ總數ヨリ四票ヲ減少スルニ至ラシメタルモノニシテ其所爲ハ舊刑法第二百三十五條ノ罪ヲ構成スヘキモノトス所論衆議院議員選舉法第八十八條第二號ハ投票ノ數ヲ増減シタル場合ニ適用スヘキモノニアラサルヲ以テ原判決カ被告ノ所爲ヲ舊刑法第二百三十五條ニ問擬シタルハ相當ニシテ論旨理由ナシ

◎第二百二條

○第二百二條ノ法意

縣會議員選舉罰則違犯ノ件(大正九(九)第八七九號
大正九(五)一七、一七、宣告)

府縣會議員選舉罰則違犯事件ニ付刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シ府縣制第四十條ニ依リ大正八年法律第六十號ニ因ル改正前ノ衆議院議員選舉法第二百二條ヲ準用シテ選舉人及被選舉人タルコトヲ禁スルハ其目的同制第六條所定ノ選舉人及被選舉人タルコトヲ全然禁スルニ在ルヲ以テ其犯罪カ府會議員ノ選舉ニ關シ行ハレタルト縣會議員ノ選舉ニ關シ行ハレタルトニ依リ其制裁ヲ異ニスヘキモノニアラサル原判決カ本件ニ付被告ニ對シ五年間府縣會議員ノ選舉人及被選舉人タルコトヲ禁止シタルハ正當ナリ

○選舉法違犯罪ト刑法犯トノ併合罪ノ處分法

公選投票偽造行使町村會議員選舉罰則違犯事件(大正六(九)第一七一八號
大正六(八)二七、判決)

第三點選舉法第二百二條ニ規定セル選舉權被選舉權ノ禁止處分ハ選舉法罰則ニ規定セラレタル刑罰ニ附隨スヘキ特別處分ナルカ故ニ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ選舉法罰則ヲ適用セラルル場合ニノミ其適用アルヘク其他ノ刑ニ處セラレタル者

ニ對シテハ其適用ナキコトハ同條ノ文理解釋上一點ノ疑ヲ容レズ然ルニ原判決ハ其法律適用ノ部ニ於テ被告周次郎佐吉重雄徳次郎四名ニ對シ舊刑法第二百三十六條ヲ適用處斷シタルニ拘ラス被告五名共町村制第三十七條衆議院議員選舉法第百二條ニ因リ五年間町村會議員ノ選舉人及被選人タルコトヲ禁スト判示シ選舉法罰則ニ規定セル刑罰ノ適用ヲ受ケサル被告等ニ對シ尙且選舉權被選舉權ノ禁止處分ヲ爲シタルハ違法ナリト云フニ在レトモ○選舉法違犯罪ト刑法犯トノ併合罪ニ付キ刑法犯ニ對スル刑ヲ重シトシテ其刑ヲ定ムル場合ニ於テハ其刑ヲ以テ選舉法違犯罪ヲモ處斷シタルモノニ外ナラサルカ故ニ其言渡ヲ受クル者ハ衆議院議員選舉法第百二條ニ所謂選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルモノニ該當スルコトハ當院判例ノ示ス所ナリ原判決カ此趣旨ニ從ヒ所論ノ如ク被告等ヲ處罰シタルハ相當ナリ論旨ハ理由ナシ

○罰金刑ト選舉權被選舉權ノ禁止

村會議員選舉罰則違犯事件(大正二(九)第一九三一號)

町村制第三十七條ヲ以テ準用スル衆議院議員選舉法第百二條ノ規定ニ依レハ汎ク選舉ニ關スル犯罪ニ因リ刑ニ處セラレタル者ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ云々選舉人及被選舉人タルコトヲ禁スト規定シ其刑ノ自由刑ナルト金刑ナルトヲ區別セサルヲ以テ罰金ニ處セラレタル犯人ナリト雖モ選舉權及被選舉權ノ行使ニ關シ同條ノ適用ヲ受クヘキモノナルコト明白ナリ同條ハ禁止期間ノ起算點トシテ刑期後ノ文字ヲ使用セルヨリシテ所論ノ解釋ヲ容ルルノ餘地アルカ如クナレトモ刑期後ト云ヘルハ罰金ノ言渡ヲ受ケタル者ハ其判決確定ノ時ヨリ禁止期間ヲ起算シテ妨ナキモ自由刑ニ處セラレタル者ニ付テハ判決確定後直ニ右期間ヲ計算スルヲ得サルヲ以テ自由刑ノ執行期間ハ前示禁止期間ニ算入セサル趣旨ヲ明白ニセンカ爲メニ過キスシテ之ニ因リテ本條ノ適用ヲ自由刑ニ處セラレタル者ニ限り金刑ニ處セラレタル者ヲ排除スル趣旨ヲ示シタルモノニ非スト謂ハサルヘカラス然ラハ原院カ罰金刑ニ處セラレタル被告ニ對シ前顯各法條ヲ適用シ選舉人被選舉人タルコトノ禁止ヲ言渡シタルハ相當ナリ

○禁止スヘキ選舉權及被選舉權ノ種類

村會議員選舉罰則違犯事件(大正二(れ)第一九三號
大正二、一三、一三、判決)

町村制第三十七條衆議院議員選舉法第百二條ノ注意ハ選舉ニ關シ法規ニ違犯セル者ハ將來其選舉ト同種ノ選舉ニ關シ選舉權及被選舉權ノ行使ヲ禁止スルニ在ルコト明カナルヲ以テ第一審判決カ本件村會議員選舉罰則ニ觸レタル被告藤内以下三名ニ對シ選舉人及被選舉人タルコトヲ禁スト言渡シタルハ村會議員ノ選舉人被選舉人タルコトヲ禁スル趣旨ナルコト明白ニシテ原判決所論ノ說明ハ此趣旨ヲ明カニシタルモノニ過キサルカ故ニ其理由ハ毫モ控訴棄却ノ主文ト齟齬アルモノニアラス

○無權利者ニ對スル選舉權被選舉權ノ禁止

衆議院議員選舉法違犯事件(明治四一(れ)第七一六號
明治四一、一〇、一、判決)

衆議院選舉法第百二條ハ選舉違犯者カ現ニ選舉權又ハ被選舉權ヲ有スルト否トニ拘

ハラス或ル期間選舉人又ハ被選舉人タルコトヲ禁スルモノナリ何トナレハ判決ノ當時選舉權又ハ被選舉權ヲ有セサル者ト雖トモ後日之ヲ有スルコトアルヘキヲ以テ選舉違犯者タル以上ハ之ヲ禁スルニアラサレハ法律カ此ノ制裁ヲ設ケタル趣旨ヲ貫徹スル能ハサルコト言ヲ俟タサレハナリ

○執行猶豫ノ言渡ヲ爲シタル場合ト禁止期間ノ始期

衆議院議員選舉法違犯事件(大正四(れ)第三二五九號
大正五、三、一四、判決)

衆議院議員選舉法第百二條ニ所謂刑期後ナル字句ハ本院判示ニ係ル如ク罰金ノ言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡確定後ヲモ指稱スルモノナルヲ以テ字句ニ拘泥シタル嚴正解釋ヲ爲スコトヲ得サルハ勿論ナルノミナラス刑期トハ現實ニ刑ノ執行ヲ爲シタル期間ヲ云ヒ刑ノ執行猶豫ノ執行停止其他ノ原由ニ因リ其執行ヲ爲ササル期間ヲ包含セサルコト明白ナルヲ以テ刑期後トハ本件ノ如ク刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ畢竟刑ノ執行ヲ終リ又ハ其執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日以後

ハ、趣旨ナリト解セサルヲ得ス

○刑法犯ハ併合罪トシテ處分スル場合ニ於ケル選舉權被選舉權ノ禁止

○禁止ノ言渡ヲ受クヘキ者

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(九)第二九八〇號)

(大正六、一、二、一第一刑事部判決)

衆議院議員選舉法第百二條規定ノ趣旨ハ現行法制上判決ニ依リ禁止セラレタルノ年度内ニ選舉資格ヲ享有スルニ付キ可能性ヲ有スル各人即本件被告等ノ如ク成年以上ノ男子ナル以上處分ノ當時現ニ選舉權被選舉權ヲ享有セサルモノト雖モ亦選舉有權者ト等シク將來ニ對シ該資格享有ノ場合ニ於テ其行使ヲ禁止スヘシト云フニ在ルコト本院ノ夙ニ判例トシテ認ムル處ニ係リ所論婦女子若クハ幼年者ノ如キ禁止年度内ニ右資格ヲ享有スルニ付キ可能性ナキ者ヲ包含セス

○禁止期間ノ重複

縣會議員選舉罰則違反事件(大正八(九)第六二二號)

(大正八、四、三、第一刑事部判決)

選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者ハ其都度法定ノ期間内選舉人及被選舉人タルコトヲ禁止スヘキモノナルコト衆議院議員選舉法第百二條ノ明文ニ徴シ明カナルヲ以テ曩ニ言渡ヲ受ケ確定シタル判決ト原判決トニ於ケル前叙禁止期間カ重複スル處アルモ之レカ爲メ原判決ニ不法ヲ來タスモノニアラス

○禁止期間ノ起算點

衆議院議員選舉法違反事件(大正六(九)第一二一〇三號)

(大正六、六、九、第三刑事部判決)

所論判示ノ禁止期間ハ言渡刑期滿了ノ翌日ヨリ起算スヘキモノナルコト法律ノ解釋上明白ニシテ特ニ判決中之ヲ明示スルコトヲ要スルモノニアラサルヲ以テ論旨理由ナシ

(註) 第二審判決ハ禁錮刑ヲ言渡シタルモノナリ

◎第三百三條

○公訴時効ノ起算點

衆議院議員選舉法違反事件(大正七、四、二五、第二刑事部判決)

上告趣意書第八點衆議院議員選舉法第三百三條ノ公訴時効ハ選舉當日ヨリ起算スヘキモノニシテ若シ其選舉當日前ニ犯サレタル場合ハ其犯行ノ日ヨリ起算スヘキモノトス然ラハ本件選舉ハ大正四年三月二十五日ナルヲ以テ爾來六ヶ月以上ヲ經過シタル後ニ提起セラレタル本件ニ對シ有罪ノ言渡ヲ爲シタル原判決ハ違法ナリト云フニ在リ○然レトモ衆議院議員選舉法第三百三條ハ同法違反罪ノ公訴ノ時効ヲ六ヶ月ト定メタルニ止マリ其起算點ニ付キ特別ノ規定ヲ爲ササルカ故ニ同法違反罪ノ公訴時効ハ刑事訴訟法第十條ニ依リ犯罪行爲ノ當日ヨリ其期間ヲ起算スヘキモノナルコトハ論ヲ俟タサル所云々

◎第百十一條

○大正八年法律第六〇號ノ施行時期

縣會議員選舉罰則違反ノ件(大正九、九、二六、第八號)

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法第百十一條ニ本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ストアリ又大正八年法律第六十號ノ同法改正規定附則ニ本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ストアルハ皆法例第一條ノ例外規定ニシテ次ノ總選舉ヨリト云フハ次ノ總選舉ノ時ヨリ施行スルモノトセリ總選舉ノ時ハ總選舉ヲ行フ期日ニ在ルモノト云フヘク總選舉ヲ行フニ先チタル衆議院解散ノ時若クハ衆議院議員ノ任期ノ滿了ノ時ノ如キハ總選舉ノ時ナリト謂フヘカラス又總選舉期日ヲ定ムル勅令公布ノ時ノ如キモ亦總選舉ノ時ナリト謂フヘカラス或ハ總選舉ヲ行フ必要ヲ生シタル時ヲ以テ施行期ニ入ルモノト爲シ從テ解散又ハ任期滿了ノ時ヲ以テ之ニ該當スルモノト爲ス見解ナキニアラサルモ要スルニ總選舉ヨリ施行ストノ規定ヲ以テ單ニ時ニ關スルモノ

トセリ總選舉ノ時即チ總選舉ヲ行フ期日トスルヲ正當トスヘク總選舉ノ必要ヲ生スル時ト爲スハ中ラス然レトモ總選舉ノ期日ニ至ラサレハ施行セラレサルモノトセハ或規定ノ運用ヲ妨ケテ竟ニ期日ニ於ケル總選舉ヲ行フ能ハサルニ至ルヘキヲ以テ畢竟前掲衆議院議員選舉法ハ一般的ニ次ノ總選舉ノ期日ヨリ施行スルモ總選舉ノ準備タルヘキ諸般ノ命令規定其他選舉運動等ニ關スル禁止規定ハ右期日前ニ於テ施行力ヲ生スルモノト爲スヲ以テ法ノ精神ニ適合スルモノト謂フヘク明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法ノ解釋ニ關スル本院明治三十五年(れ)第一七四〇號事件並ニ同年(れ)第一六三五號事件ノ判決モ亦之ト旨趣ヲ同シクスルモノトス故ニ大正八年法律第六十號同法改正規定附則ニ本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ストアルモ亦同一旨趣ナリト解スルヲ以テ妥當トス故ニ大正八年法律第六十號ノ改正規定ハ同法公布後ノ直近ノ總選舉期日タル大正九年五月十日ニ至ラサレハ府縣制第四十條ニ依リ衆議院議員選舉法罰則ヲ準用スヘキ事犯ニ對シテハ施行力ヲ有セサルモノトス

○新舊兩法ノ比照

縣會議員選舉罰則違反ノ件(大正九(れ)第一一四四號
大正九、六、三〇、宣告)

改正衆議院議員選舉法ハ大正九年五月十日ヨリ一般的ニ施行セラレタルモノナルコト本院判例ノ認ムル所ナルヲ以テ原判決カ其以前ニ於テ判決ヲ爲スニ當リ改正前ノ法律ト改正法律トヲ比較シテ擬律シタルハ不法ナリトス

○選舉人及被選舉人タルコトヲ禁スル處分ノ言渡ノ要否

衆議院議員選舉法違反ノ件(大正九(れ)第一九七四號
大正九、一、一五、宣告)

被告ノ所爲ハ一箇ノ行爲ニシテ衆議院議員選舉法違反ノ點ハ改正衆議院議員選舉法第八十七條第一項第五號ニ該當シ府縣會議員選舉罰則違反ノ點ハ新舊兩法比照ノ結果府縣制第四十條舊衆議院議員選舉法第八十七條第一項第一號ニ該當スルヲ以テ之ヲ處斷スヘキ刑ヲ定ムルニハ刑法第五十四條第一項前段ニ依リ重キ改正衆議院議員

選舉法ニ則ルヘキモ府縣會議員ノ選舉人及ヒ被選舉人タルコトヲ禁止スルハ處分トシテ刑罰ニ屬セサルヲ以テ該處分ハ本件ニ於テ之カ言渡ヲ爲スヲ要スルモノトス

附 錄

衆議院議員選舉法
府 縣 制 拔 萃
市 制 拔 萃
町 村 制 拔 萃

●衆議院議員選舉法

(明治三十三年三月二十九日
法律第七十三號)

改正 明治三十五年四月法律第三八號、同第三九號、四一年四月同第五八號、四三年一〇月同第六五號、
大正八年五月同第六〇號

第一章 選舉ニ關スル區域

第一條

衆議院議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

第二條

投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル

特別ノ事情アル市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ二箇以上ノ投票區ヲ設ケ又
ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ投票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キトキハ勅令ヲ以テ特別ノ規
定ヲ設クルコトヲ得

第三條

町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ

一 町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

第四條 市町村長ハ投票管理者トナリ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第五條 (削除)

第六條 郡市長ハ選舉長トナリ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

一 選舉區數郡市ニ涉ルトキハ地方長官ハ關係郡市長ノ一人ヲシテ選舉長タラシム
ヘシ

第七條 行政區畫ノ變更ニ因リ選舉區ニ異動ヲ生スルモ現任議員ハ其ノ職ヲ失フコトナシ

第二章 選舉權及被選舉權

第八條 左ノ要件ヲ具備スル者ハ選舉權ヲ有ス

- 一 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿二十五年以上ノ者
- 二 選舉人名簿調製ノ期日迄引續キ滿六箇月以上同一選舉區内ニ住所ヲ有スル者

三 選舉人名簿調製ノ期日迄引續キ滿一年以上直接國稅三圓以上ヲ納ムル者
家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ爲シタル納稅ト看做ス

第九條 前條ノ要件中其ノ期間ニ關スルモノハ行政區畫變更ノ爲中斷セララルコトナシ

第十條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿三十年以上ノ者ハ被選舉權ヲ有ス

第十一條 左ニ掲クル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

- 一 禁治產者及準禁產者
- 二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者
- 三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第十二條 華族ノ戸主ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者又ハ官立公立私立學校ノ學生、生徒亦前項ニ同シ

第十三條 神官、神職、僧侶其ノ他諸宗教師、小學校教員ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後三箇月ヲ經過セサル者亦同シ

政府ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員及支配人ハ被選舉權ヲ有セス

前項ノ役員トハ取締役、監查役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第十四條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員ハ其ノ關係郡市内ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後三箇月ヲ經過セサル者亦同シ

第十五條 宮内官、判事、檢事、行政裁判所長官、行政裁判所評定官、會計検査官、收稅官吏及警察官吏ハ被選舉權ヲ有セス

第十六條 前條ノ外ノ官吏ハ其ノ職務ニ妨ナキ限りハ議員ト相兼ヌルコトヲ得

第十七條 府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三章 選舉人名簿

第十八條 町村長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ町村内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉

資格ヲ調査シ選舉人名簿正副二本ヲ調製シ十月十五日迄ニ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ調査シ其ノ修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ副本

ハ十月三十一日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ

市長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ市内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ

十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、官位、職業、身分、住所、生年月日、納稅額及納

稅地等ヲ記載スヘシ

第十九條 選舉人其ノ住所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ證明ヲ得テ十月五日迄ニ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期日迄ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件

第二十條 郡長、市町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間其ノ廳又ハ地方長官ノ許可ヲ得タル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ縦覽ニ供スヘシ

第二十一條 選舉人選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ理由書及證憑ヲ具ヘテ之ヲ郡市長ニ申立ツルコトヲ得

第二十二條 選舉人正當ノ事故ニ因リ第十九條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ選舉人名簿ニ登録セラレサルトキ亦前條ノ例ニ依ル

第二十三條 縦覽期限ヲ經過シタルトキハ前二條ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條 郡市長ニ於テ第二十一條第二十二條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證憑ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スヘシ其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其ノ由ヲ申立人及關係人ニ通知シ併セテ其ノ要領ヲ告示スヘシ其ノ申立ヲ正當ナラスト決定シタルトキハ之ヲ申立人ニ通知スヘシ

前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ其ノ由ヲ本人住所地ノ町村長ニ通知スヘシ

第二十五條 前條郡市長ノ決定ニ不服アル申立人及關係人ハ郡市長ヲ被告トシ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項地方裁判所ノ判決ニ對シテハ控訴スルコトヲ許サス但シ大審院ニ上告スルコトヲ得

第二十六條 町村長ハ十一月二十日ヨリ十二月十日迄ノ間ニ其ノ管理ニ屬スル選舉人名簿ヲ郡長ニ送付スヘシ

前項名簿ノ送付ヲ受ケタル郡長ハ之ヲ調査シ其ノ修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ十二月二十日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ

第二十七條 選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定ノ日迄之ヲ据置クヘシ但シ確定判決ニ依リ修正スヘキモノハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ其ノ由ヲ本人住所地ノ町村長ニ通知シ
副本ヲ修正セシムヘシ
天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ
前項選舉人名簿ノ調製及其ノ期日、縦覽確定ニ關スル期日、期間等ハ命令ノ定ム
ル所ニ依ル

第四章 選舉、投票及投票所

第二十八條 總選舉ノ期日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ少クトモ三十日前ニ之ヲ公布ス

第二十九條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第三十條 投票所ハ市役所、町村役場又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ投票管理者ノ指定
シタル場所ニ之ヲ設ク

第三十一條 投票管理者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ五日前ニ投票所ヲ其ノ投票區内
ニ告示スヘシ

第三十二條 郡市長ハ各投票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上五名以下ノ投票立
會人ヲ選任シ選舉ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ノ當日投票
所ニ參會セシムヘシ

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第三十三條 投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ツ

第三十四條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ス
ヘシ

投票管理者ハ投票ヲ爲サムトスル選舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハサル
トキハ其ノ本人ナル旨ヲ宣言セシムヘシ其ノ宣言ヲ爲ササル者ハ投票ヲ爲スコト
ヲ得ス

第三十五條 投票用紙ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付スヘシ

第三十六條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ
投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第三十七條 選舉人名簿ニ登録セラレサル者ハ投票スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲシテ投票セシムヘシ

第三十八條 選舉人名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者亦前項ニ同シ

第三十九條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル町村ノ選舉人不服アルトキハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投票函セシムヘシ

第一項ニ掲クル者ニ於テ異議アル町村ノ選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第四十條 投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ由ヲ告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ在ル選舉人ノ投票終了スルヲ待テ投票函ヲ閉鎖スヘシ投票函閉鎖後ハ投票スルコトヲ得ス

第四十一條 投票管理者ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第四十二條 投票管理者ハ一名又ハ數名ノ投票立會人ト共ニ町村ノ投票區又ハ郡ト合セテ選舉區ヲ爲ス市ノ投票區ニ於テハ投票ノ翌日迄ニ其ノ他ノ投票區ニ於テハ投票ノ當日投票函、投票録及選舉人名簿ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第四十三條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アルトキハ地方長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ選舉會ノ期日迄ニ其ノ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

第四十四條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ選舉長ヲ經テ地方長官ニ其ノ由

ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ地方長官ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日前ニ投票区内ニ告示セシムヘシ

第四十五條 同一選舉區ニ於テ同時ニ二人以上ノ議員ヲ選舉スルトキハ選舉ノ種類如何ニ拘ラス第二十九條及第三十六條ノ例ニ依ル

第四十六條 何人ト雖選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルノ義務ナシ

第五章 投票所取締

第四十七條 投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第四十八條 選舉人、投票所ノ事務ニ從事スル者、投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ノ外投票所ニ入ルコトヲ得ス

第四十九條 投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧騒ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

第五十條 前條ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第六章 選舉會

第五十一條 選舉會ハ選舉長ノ屬スル郡市役所又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

第五十二條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第五十三條 地方長官ハ各選舉区内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ選舉立會人ヲ選任シ選舉會ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉會ニ參會セシムヘシ

選舉立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第五十四條 選舉長ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日ノ翌日選舉會ヲ開キ選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

第五十五條 前條ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ先ツ第三十九條第二項及第四項ノ

投票ヲ調査シ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

選舉長ハ各投票所ノ投票ヲ混同シ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

一 選舉區數郡市ニ涉ルトキハ各郡市別ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十六條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 投票ノ効力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スヘシ

第五十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
- 二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

七 衆議院議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

前項第七號ノ規定ハ第七十四條又ハ第七十八條ノ規定ニ依ル選舉ノ場合ニ限り之ヲ適用ス

第五十九條 投票ハ有效無効ヲ區別シ議員ノ任期間選舉長ニ於テ之ヲ保存スヘシ

一 選舉區數郡市ニ涉ルトキハ各郡市別ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ署名シ投票錄ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十一條 選舉ノ一部無効トナリ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於ケル選舉會ニ於テハ其ノ投票ノ効力ヲ決定スヘシ

第六十二條 第四十四條ノ規定ハ但書ヲ除キ選舉會ニ之ヲ準用ス

第六十三條 選舉會場ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

第七章 (削除)

第六十四條 (削除)

第六十五條 (削除)

第六十六條 (削除)

第六十七條 (削除)

第六十八條 (削除)

第六十九條 (削除)

第八章 當 選 人

第七十條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉區内ノ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選人ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ年齡多キ者ヲ取り年齡モ亦同シキトキハ選舉會ニ於テ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定ムヘキ場合

ニ於テハ選舉會ヲ開キ之ヲ定ムヘシ

當選人當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキ其ノ當選人第二項ノ規定ニ依リ當選人トナリタル者ナル場合ニ於テハ選舉會ヲ開キ其ノ規定ノ適用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ第五十四條第五十五條第五十七條乃至第五十九條第六十一條ノ規定ヲ適用セス

第七十一條 當選人定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選人ノ氏名、得票數及選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數其ノ他選舉ノ顛末ヲ地方長官ニ報告スヘシ

當選人ナキトキ又ハ當選人議員ノ定數ニ達セサルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

七十二條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選舉

長ニ届出ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ當選ヲ承諾スルコトヲ得ス

選舉長第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第七十三條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲

ササルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第七十四條 左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ更ニ選舉ヲ行フコトナク

シテ當選人ヲ定メ得ルトキ又ハ左ニ掲クル其ノ他ノ事由ニ依リ若ハ第七十八條第四項ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外地方長官ハ選舉ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

一 當選人ナキトキ又ハ當選人議員ノ定數ニ達セサルトキ

二 當選人當選ヲ辭シタルトキ又ハ死亡者ナルトキ

三 選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ當選人ナキニ至リ又ハ當選人議員ノ定數

ニ達セサルニ至リタルトキ

四 當選人選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキ
選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ出訴期間ハ前項ノ規定ニ依ル選舉ヲ行フコトヲ得ス其ノ出訴アリタル場合ニ於テ訴訟繫屬中亦同シ

第七十五條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ地方長官ハ直ニ當選證書ヲ付與シ其ノ氏名ヲ管内ニ告示シ且之ヲ内務大臣ニ報告スヘシ

第七十六條 選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ判決ニ依リ選舉若ハ當選無効トナリタルトキ又ハ當選證書ヲ付與シタル後選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキハ地方長官ハ其ノ當選證書ヲ取消シ之ヲ管内ニ告示スヘシ

第九章 議員ノ任期及補闕選舉

第七十七條 議員ノ任期ハ總選舉ノ期日ヨリ四箇年トス但シ議會開會中ニ任期終ルモ閉會ニ至ル迄在任ス

第七十八條 議員ニ闕員ヲ生シタルトキハ内務大臣ハ地方長官ニ其ノ補闕ノ手續ヲ

爲スヘキ旨ヲ命スヘシ

地方長官ハ第七十四條ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外前項ノ規定ニ依ル命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行ハシムヘシ但シ第七十條第二項ノ規定ニ依リ當選人トナリタル議員闕員トナリタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ通知スヘシ

選舉長ハ前項但書ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ第七十條第四項及第五項ノ規定ヲ準用シ當選人ヲ定ムヘシ
補闕選舉ノ期日ハ地方長官豫メ之ヲ告示スヘシ

第七十四條第二項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

第七十九條 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十章 選舉訴訟及當選訴訟

第八十條 選舉ノ效力ニ關シ異議アル選舉人ハ選舉長ヲ被告トシ選舉ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

第八十一條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アル場合ニ限り裁判所ハ其ノ選舉ノ全部若ハ一部ノ無效ヲ判決スヘシ

當選訴訟ニ於テモ其ノ選舉前項ノ場合ニ該當スルトキハ裁判所ハ其ノ全部若ハ一部ノ無效ヲ判決スヘシ

第八十二條 當選ヲ失ヒタル者當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ當選人ヲ被告トシ

第七十五條ノ氏名告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得但シ第七十條第一項但書ニ定メタル得票ニ達シタリトノ理由ニ由リ出訴スル場合ニ於テハ選舉長ヲ被告トシ第七十四條ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ出訴スヘシ

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

當選訴訟ノ裁判確定前當選人死亡シタルトキハ檢事ヲ被告トス

第八十三條 裁判所ハ選舉訴訟若ハ當選訴訟ヲ裁判スルニ當リ檢事ヲシテ口頭辯論ニ立會シムヘシ

第八十四條 選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ出訴アリタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ内務大

臣ニ通知スヘシ訴訟ノ繫屬セサルニ至リタルトキ亦同シ

裁判所ニ於テ選舉訴訟若ハ當選訴訟ヲ判決シタルトキハ其ノ判決書ノ謄本ヲ内務大臣ニ送付スヘシ若帝國議會開會中ナルトキハ併セテ之ヲ衆議院議長ニ送付スヘシ

第八十五條 原告人ハ訴訟ヲ提出スルト同時ニ保證金トシテ三百圓又ハ之ニ相當ス

ル額面ノ公債證書ヲ供託スヘシ

原告人敗訴ノ場合ニ於テ裁判確定ノ日ヨリ七日以内ニ裁判費用ヲ完納セサルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充當シ仍足ラサルトキハ之ヲ追徴ス

第十一章 罰 則

第八十六條 詐偽ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル者又ハ第三十四條第二

項ノ場合ニ於テ虛偽ノ宣言ヲ然シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十七條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下

ノ罰金ニ處ス

- 一 議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ金錢、物品、手形其ノ他ノ財産上ノ利益又ハ公私ノ職務ノ供與若ハ其ノ供與ノ約束ヲ爲シ又ハ其ノ供與ノ申込ヲ爲シタルトキ
- 二 議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人又ハ運動者ニ對シ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス饗應接待若ハ其ノ饗應接待ノ約束ヲ爲シ又ハ其ノ饗應接待ノ申込ヲ爲シタルトキ
- 三 議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人ニ對シ投票所ニ往復スル爲ノ船車馬ノ類ノ供給旅費休泊料ノ類ノ代辦若ハ供給代辦ノ約束ヲ爲シ又ハ其ノ供給代辦ノ申込ヲ爲シタルトキ
- 四 議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ選舉人若ハ選舉運動者又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シテ誘導ヲ爲シタルトキ

五 議員候補者若ハ選舉運動者カ投票ヲ爲サシメサル目的ヲ以テ又ハ選舉運動者カ議員候補者ノ爲ニ投票ヲ爲サシムル目的ヲ以テ第一號乃至第三號ノ供與饗應接待供給代辦若ハ其ノ約束ヲ爲シ又ハ第一號乃至第三號ノ申込若ハ前號ノ誘導ヲ爲シタルトキ

六 議員候補者又ハ選舉運動者カ議員候補者ヲシテ議員候補者タルコトヲ止メシメ又ハ選舉運動者ヲシテ選舉運動ヲ止メシムル目的ヲ以テ其ノ者ニ對シ第一號ノ供與其ノ供與ノ約束若ハ其ノ供與ノ申込ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ者若ハ其ノ者ニ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シテ誘導ヲ爲シタルトキ

七 投票ヲ爲シ若ハ爲ササルコト議員候補者タルコトヲ止メタルコト選舉運動ヲ爲シ若ハ止メタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ議員候補者又ハ選舉運動者カ選舉人、議員候補者又ハ選舉運動者ニ對シ第一號ノ供與若ハ第二號ノ饗應接待、其ノ供與若ハ饗應接待ノ約束又ハ其ノ

供與若ハ饗應接待ノ申込ヲ爲シタルトキ

八 第一號乃至第三號前三號ノ供與饗應接待供給代辦ヲ受ケ若ハ要求シ又ハ第一號乃至第三號前三號ノ申込ヲ承諾シ若ハ第四號乃至第六號ノ誘導ニ應シタルトキ

九 第一號乃至前號ニ掲クル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ前項ノ場合ニ於テ收受シタル利益ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價格ヲ追徵ス

第八十八條 選舉ニ關シ左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 選舉人、議員候補者又ハ選舉運動者ニ對シ暴行若ハ脅迫ヲ加ヘ又ハ之ヲ拐引シタルトキ

二 選舉人、議員候補者若ハ選舉運動者ノ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐僞ノ方法ヲ以テ投票若ハ選舉運動ヲ妨ケ、爲サシメ若ハ止メシメタルトキ

三 選舉人、議員候補者若ハ選舉運動者又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シテ選舉人、議員候補者又ハ選舉運運者ヲ威逼シタルトキ

第八十九條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人及監視者選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同シ選舉ニ關シ官吏又ハ吏員故意ニ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シタルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

官吏又ハ吏員選舉人ニ對シ其ノ投票セシムトシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ノ表示ヲ強要シタルトキハ三月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十條 投票所又ハ選舉會場ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ二百以下ノ罰金ニ處ス

法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條 投票管理者、選舉長、立會人若ハ選舉監視者ニ暴行若ハ脅迫ヲ加ヘ又ハ選舉會場若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者ハ四年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十二條 多衆聚合シテ第八十八條第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第八十八條 第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯ス爲多衆聚合シ當該公務員ヨリ解散ノ命ヲ受クルコト三回以上ニ及フモ仍解散セサルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ

他ノ者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第九十三條 選舉ニ關シ銃砲、槍戟、刀劍、竹槍、棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足ル

ヘキ物件ヲ携帶シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコトヲ得

第九十四條 前條記載ノ物件ヲ携帶シテ選舉會場若ハ投票所ニ入りタル者ハ三年以

下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 選舉ニ關シ氣勢ヲ張ルノ目的ヲ以テ多衆集合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來

シ又ハ煙火、篝火、松明ノ類ヲ用キ若ハ鐘鼓、法螺、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其ノ

他ノ標章ヲ用ウル等ノ所爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍其ノ命ニ從ハサル

者ハ六月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條 演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘

ラス第八十七條第八十八條第九十條乃至前條ノ罪ヲ犯サシムル目的ヲ以テ人ヲ煽

動シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス但シ新聞紙、

雜誌ニ在リテハ仍其ノ編輯人及實際編輯ヲ擔當シタル者ヲ罰ス

第九十七條 當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他

何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル者ハ二

年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス新聞紙、雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例

ニ依ル

第九十八條 選舉人ニ非サル者投票ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以

下ノ罰金ニ處ス

氏名ヲ詐稱シ其ノ他詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者又ハ投票ヲ偽造シ若ハ其

ノ數ヲ増減シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三

年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ五十圓以

下ノ罰金ニ處ス

第三百條 第九十三條及第九十四條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其ノ携帶シタル物件ヲ沒收ス

第三百一條 當選人其ノ選舉ニ關シ本章ニ掲クル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第三百二條 本章ニ掲クル罪ヲ犯シタル者ニシテ罰金ノ刑ニ處セラレタルモノニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ終ル迄又ハ刑ノ時効ニ因ル場合ヲ除クノ外刑ノ執行ノ免除ヲ受クル迄ノ間及其ノ後五年間選舉權及被選舉權ヲ有セス禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノニ付其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間亦同シ

前項ノ規定ハ第十一條第三號ノ規定ニ該當スル者ニハ之ヲ適用セス

第三百三條 本法ニ依リ處罰スヘキ犯罪ハ六箇月ヲ以テ時効ニ罹ル

第十二章 補則

第三百四條 選舉ニ關スル費用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三百五條 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラス速ニ其ノ裁判ヲ爲スヘシ

第三百六條 郡長ヲ置カサル地ニ於テハ本法中郡ニ關スル規定ハ島司北海道廳支廳長其ノ他郡長ニ準スヘキ者ノ管轄區域ニ、郡長ニ關スル規定ハ島司北海道廳支廳長其ノ他郡長ニ準スヘキ者ニ、郡役所ニ關スル規定ハ島廳北海道廳支廳其ノ他郡役所ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

市制第六條ノ市又ハ沖繩縣若ハ北海道ノ區ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス
町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキ者ニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第三百七條 立會人指定ノ時刻ニ至リ參會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數

ヲ缺キタルトキハ投票管理者、選舉長ハ臨時ニ選舉人ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシ

第百八條 選舉人名簿ニ關スル訴訟、選舉訴訟及當選訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外總テ民事訴訟ノ例ニ依ル

第百九條 本法ニ於ケル直接國稅ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百十條 北海道及沖繩縣ニ於テ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十三章 附 則

第百十一條 本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

第百十二條 明治十三年第三十六號布告刑法第二編第四章第九節ハ衆議院議員ノ選舉ニ關シテハ之ヲ適用セス

第百十三條 本法ハ東京府小笠原島並北海道廳根室支廳管内占守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ當分ノ内之ヲ施行セス

別 表(略ス)

●府 縣

制

明治三十二年三月十六日（大正三年四月法律第三十五號及同）
法律第六十四號（十一年四月法律第五十五號改正）

第二章 府縣會

第一款 組織及選舉

第四條

府縣會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

2 選舉區ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪市其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區ノ區域ニ依ル

3 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選舉區ヲ分チテ數選舉區ト爲スコトヲ得（大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ追加）

4 前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ付テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（七同）

第五條

府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増

ス

2 各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム(大正三年法律三十)
ム(五號ヲ以テ改正)

3 議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム(同上)

4 議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス(同上)
(追加)

第六條 府縣内ノ市町村公民ニシテ一年以來其ノ府縣内ニ於テ直接國稅ヲ納ムル者

ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス(大正十一年四月法律第)
五十五號ヲ以テ改正)

2 家督相續ニ依リ財産ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財産ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ爲シタル納稅ト看做ス(同上)

3 確定名簿ニ登録セラレタル者ハ其ノ名簿調製期日後選舉權ノ納稅要件ヲ闕クニ至リタル場合ト雖其ノ確定名簿据置ノ期間内仍選舉權ヲ有ス(同上)
(追加)

4 府縣會議員ハ住所ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失フコトアルモ其ノ住所同府縣内ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

5 府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ府縣郡市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

6 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者及戰時又ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス(大正十一年四月法律第)
五十五號ヲ以テ追加)

7 市町村公民權停止中ノ者ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス(同上)

8 左ニ掲クル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

- 一 其ノ府縣ノ官吏及有給吏員
- 二 檢事警察官吏及收稅官吏
- 三 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師(大正三年法律三十)
五號ヲ以テ改正)

四 小學校教員

9 前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ
10 選舉事務ニ關係アル官吏吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ

罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

11 府縣ニ對シ請負ヲ爲シ若ハ府縣ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員及支配人ハ其ノ府縣ニ於テ被選舉權ヲ有セス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

12 前項ノ役員トハ取締役、監查役及之ニ準スヘキ者竝清算人ヲ謂フ(同上追加)

13 府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第七條 府縣會議員ハ名譽職トス

2 議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス(大正三年法律三十號ヲ以テ改正)

第八條 府縣會議員中闕員アルトキハ三箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ(同上)

2 議員闕員ト爲リタルトキ其ノ議員カ第二十九條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合又ハ本條本項、第三十二條第一項但書若ハ第三十六條第一項但書ノ規定ニ依ル第二十九條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナ

ル場合ニ於テハ選舉長ハ直ニ第二十九條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此場合ニ於テハ第二十九條第二項及第三十一條ノ規定ヲ準用ス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ追加)

3 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第九條 町村長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ其ノ町村内ノ選舉人名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ郡長ニ送付スヘシ

2 郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ合シ毎年十月十五日マテニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十條 市長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日マテニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十一條 選舉人其ノ住所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ證明ヲ得テ九月二十日マテニ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期限内ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ

要件ニ算入セス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

四〇

第十二條 郡市町村長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所町村役場ニ於テ選舉

人名簿ヲ關係者ノ縱覺ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ名簿ニ登録セラレサルトキハ縱覺期限内ニ之ヲ郡市長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

2 前項郡市長ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

3 前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

4 選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十四日マテ之ヲ据置クヘシ

5 府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正スヘシ

6 本條ニ依リ郡市長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示シ郡長ハ本人住所地ノ町村長ニ通知シ町村長ハ名簿ヲ修正シ之ヲ告示スヘシ(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

7 確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ記載セラレヘキ確定裁決書若ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

8 確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

9 異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効トナリタルトキハ九月十五日ノ現在ニ依リ更ニ名簿ヲ調製スヘシ但シ名簿調製ノ期日マテニ選舉權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登録スル限ニ在ラス

10 天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製シ又ハ之ヲ縱覺ニ供スヘシ(大正三年法律三十五號ヲ以テ本項追加)

11 前二項名簿調製ノ期日縱覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依

ル(同上)
(改正)

四二

12 府縣郡市町村ノ廢置分合境界變更ノ場合ニ於ケル名簿ノ分合ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム(同上本項追加)

第十三條 府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選舉ヲ行フヘキ選舉區投票ヲ行フヘキ日時及選舉スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ選舉ノ日ヨリ少クトモ二十日前ニ之ヲ發スヘシ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ府縣知事ハ當該選舉區又ハ投票區ニ付投票ヲ行フヘキ日時ヲ定メ少クトモ七日前ニ之ヲ告示スヘシ(大正三年法律三十五號ヲ以テ本項追加)

第十四條 府縣會議員ノ選舉ハ郡市長之ヲ管理ス

第十五條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル但シ第四條第三項ノ規定ノ適用ニ依リ市ノ區域内ニ數選舉區アルトキハ其ノ選舉區ノ區域ニ依ル(大正十一年四月七法律第五十五號ヲ以テ改正)

府縣知事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ規定ニ依ル投票區ノ區域内ニ二箇以上ノ

投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設クルコトヲ得(同上)

3 投票所ハ市役所町村役場又ハ市町村長ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ケ市町村長其ノ事務ヲ管理ス

4 投票所ハ市町村長ニ於テ選舉ノ日ヨリ少クトモ五日前ニ之ヲ告示スヘシ
5 第二項ノ場合ニ於テ投票ニ關シ本法ヲ適用シ難キトキハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十六條 市町村長ハ臨時ニ其ノ管理スル投票區域内ニ於ケル選舉人中ヨリ投票立會人二名乃至四名ヲ選任スヘシ

2 投票立會人ハ名譽職トス

第十七條 選舉人ニ非サル者ハ投票所ニ入ルコトヲ得ス但シ投票所ノ事務ニ從事スル者投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス(大正三年法律三十五號ヲ以テ改正)

2 投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ

四三

他投票所ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

3 前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者投票所ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第十八條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

2 投票ハ一票ニ限ル

3 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經又ハ確定裁決書若ハ判決書ヲ提示シテ投票ヲ爲スヘシ(大正三年法律第三十五號ヲ以テ改正)

4 投票時間内ニ投票所ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得(同上追加)

5 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

6 投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

7 自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

8 投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

9 選舉人名簿調製ノ後選舉人其ノ投票區域外ニ住所ヲ移シタル場合ニ於テ仍選舉權ヲ有スルトキハ前住所地ノ投票所ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

10 第三十二條第一項若ハ第三十六條ノ選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ(大正三年法律第三十五號ヲ以テ追加)

第十九條 投票ノ拒否ハ投票立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ市町村長之ヲ決スヘシ

第二十條 市町村長ハ投票録ヲ製シ投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第二十一條 投票ヲ終リタルトキハ市町村長ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ直ニ投票函及投票録ヲ選舉會場ニ送致ススヘシ

第二十二條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ對シテハ府縣知事ハ適宜ニ其ノ投票期日ヲ

定メ選舉會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第二十三條 選舉會ハ郡役所、市役所又ハ郡市長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開ク

ヘシ

前項選舉會ノ場所及日時ハ郡市長豫メ之ヲ告示スヘシ(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

第二十四條 郡市長ハ選舉人中ヨリ選舉立會人二名乃至六名ヲ選任スヘシ(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

選舉立會人ハ名譽職トス

第二十五條 郡市長ハ選舉長ト爲リ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市ニ於

テハ投票ノ翌日選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若投票ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生シタルトキハ其ノ由ヲ選舉錄ニ記載スヘシ但シ場合ニ依リ選舉會ハ郡ニ於テハ投票函到達ノ日市ニ於テハ投票ノ日之ヲ開クコトヲ得

天災事變等ノ爲所定ノ期日ニ選舉會ヲ開クコトヲ得サルトキハ郡市長ハ前項ノ規

定ニ拘ラス更ニ其ノ期日ヲ定ムヘシ(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ追加)

第一項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ(同上)

第二十六條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第二十七條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
 - 二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
 - 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 - 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 六 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ追加)
 - 七 現ニ府縣會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ(同上)
- 前項第七號ノ規定ハ總選舉ノ場合ニ於テ第二十二條ノ規定ニ依リ投票期日ヲ定メ

タルトキハ之ヲ適用セス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ追加)

第二十八條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第二十九條 府縣會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ其ノ選舉區ニ配當セラレタル議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

2 當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム(大正三年法律三十號ヲ以テ改正)

第三十條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名シ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ(上同)

第三十一條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ府縣知事ニ報告スヘシ(上同)

2 當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

3 一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキカヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

4 前二項ノ申立ヲ其ノ期限内ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

5 第六條第九項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以内トス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

第三十二條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、數選舉區ノ選舉ニ當リ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選舉區ノ選舉ニ應シタル爲他ノ選舉區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ其ノ當選者第二十九條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ第八條第二項ノ例ニ依ル(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

2 當選者選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキ其ノ前ニ其ノ者ニ關スル補闕選舉若ハ前項ノ選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス(上同)

第三十三條 當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第三十四條 選舉人選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ前條告示ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

2 前項ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ

3 府縣知事ニ於テ選舉若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス選舉ニ關シテハ第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第二項又ハ第三項ノ申立アリタル日ヨリ三十日以内ニ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

4 前二項ノ場合ニ於テハ府縣參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ(大正三年法律第三十五號ヲ以テ追加)

5 本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

6 前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

7 第八條、第三十二條又ハ第三十六條第二項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ追加)

8 府縣會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス(上同)

第三十五條 選舉ノ規定ニ違犯スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス(大正三年法律第三十五號ヲ以テ改正)

2 當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第三十六條 選舉若ハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ更ニ選

舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ヘキ場合ニ於テハ第二十九條第二項及第三十一條ノ規定ヲ準用ス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十九條第一項但書ノ規定ヲ適用セス(大正十三年法律第三十五號ヲ以テ追加)

第三十七條 府縣會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權

ノ有無ニ關シテハ府縣會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外府縣參事會其ノ異議ヲ決定ス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

- 一 禁治產者又ハ準禁治產者トナリタルトキ
 - 二 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ宣告確定シタルトキ
 - 三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
 - 四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 府縣會ニ於テ其ノ議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ府縣知事

ニ通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

3 府縣知事ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ府縣知事ニ於テ被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

4 第三十四條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス(大正三年法律第三十五號ヲ以テ改正)

5 本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

6 前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

7 府縣會議員ハ其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス(大正十一年四月法律第五十五號ヲ以テ改正)

第三十八條 本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁決ハ其ノ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十九條 第四條第二項但書ノ市ニ於テハ市長トアルハ區長又市トアルハ區、市役所トアルハ區役所ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

2 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村
其ノ組合ノ管理者ハ之ヲ町村長ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス(大正三年法律第三十五號ヲ以テ改正)
第四十條 府縣會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第三章 府縣參事會

第一款 組織及選舉

第六十五條 府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣知事府縣高等官二名及名譽職參事會員ヲ
以テ之ヲ組織ス

2 府ノ名譽職參事會員ハ十名トシ縣ノ名譽職參事會員ハ七名トス(大正三年法律三十
五號ヲ以テ改正)

3 府縣高等官ニシテ府縣參事會員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命ス

第六十六條 名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

2 府縣會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スヘシ

3 前二項ノ場合ニ於テハ第十八條第二十七條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票
ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

4 名譽職參事會員中闕員アルトキハ府縣知事ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順

序ハ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ選舉同時ナルトキハ得票數ニ依

リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ抽籤ニ依ル仍闕員アル場合
ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

5 名譽職參事會員及其ノ補充員ハ毎年之ヲ選舉スヘシ

6 名譽職參事會員ハ後任者就任ノ前日マテ在任ス府縣會議員ノ任期滿了シタルトキ
亦同シ(大正三年法律第三十五號ヲ以テ改正)

第六十七條 府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス府縣知事故障アルトキハ高等官
參事會員議長ノ職務ヲ代理ス

●市制

(明治四十四年四月七日法律第六十八號
大正十年四月十一日法律第五十八號改正)

第二章 市會

第一款 組織及選舉

第十三條 市會議員ハ左ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

2 議員ノ定數左ノ如シ(大正十年四月法律第五十八號改正)

- 一 人口五萬未滿ノ市 三十人
- 二 人口五萬以上十五萬未滿ノ市 三十六人
- 三 人口十五萬以上二十萬未滿ノ市 四十人
- 四 人口二十萬以上三十萬未滿ノ市 四十四人
- 五 人口三十萬以上ノ市 四十八人
- 3 人口三十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口十萬、人口五十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口二十萬ヲ加フル毎ニ議員四人ヲ増加ス(大正十年四月法律第五十八號改正)

4 議員ノ定數ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

5 議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ内務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 市公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第十一條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

(第二項乃至第五項削除)

第十五條 選舉人ハ分チテ二級トス

2 選舉人中選舉人ノ總數ヲ以テ選舉人ノ納ムル直接市稅總額ヲ除シ其ノ平均額以上ヲ納ムル者ヲ一級トシ其ノ他ノ選舉人ヲ二級トス但シ一級選舉人ノ數議員定數ノ二分ノ一ヨリ少キトキハ納稅額最多キ者議員定數ノ二分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二人以上アルトキハ其ノ市内ニ住所ヲ有スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル住所ヲ有スル年數同シトキハ年長者ヲ以テシ年齡ニ依リ難キトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

3 選舉人ハ每級各別ニ議員定數ノ二分ノ一ヲ選舉ス但シ選舉區アル場合ニ於テ議員ノ數二分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

4 被選舉人ハ各級ニ通シテ選舉セララルコトヲ得

5 第二項ノ直接市稅ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ

第十六條 市ハ市條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得二級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ

2 選舉區ノ數及其ノ區域竝各選舉區ヨリ選出スル議員數ハ前項ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

3 第六條ノ市ニ於テハ區ヲ以テ選舉區トス其ノ各選舉區ヨリ選出スル議員數ハ市條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

4 選舉人ハ住所ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム第七十六條又ハ第七十九條第二項ノ規定ニ依リ市公民タル者ニシテ市内ニ住所ヲ有セサル者ニ付テハ市長ハ本人ノ申出ニ依リ其ノ申出ナキトキハ職權ニ依リ其ノ選舉區ヲ定ムヘシ

5 選舉區ニ於テハ前條ノ規定ニ準シ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ但シ一級選舉人ノ數其ノ選出スヘキ議員配當數ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員配當數ト同數ヲ以テ一級トス

6 被選舉人ハ各選舉區ニ通シテ選舉セララルコトヲ得

第十七條 特別ノ事情アルトキハ市ハ府縣知事ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ選舉分會ヲ設クルコトヲ得二級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ

第十八條 選舉權ヲ有スル市公民ハ被選舉權ヲ有ス

2 左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經適セサル者亦同シ

一 所屬府縣ノ官吏及有給吏員

二 其ノ市ノ有給吏員

三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

3 市ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員及支配人ハ被選舉權ヲ有セス

4 前項ノ役員トハ取締役、監查役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

5 父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ市會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ同級ニ在リテハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキ又ハ等級若ハ選舉區ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ年長者ヲ當選者トシ年齢同シキトキハ市長抽籤シテ當選者ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉セラレタル者議員タルコトヲ得ス

6 議員ト爲リタル後前項ノ緣故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其ノ職ヲ失フ年齢同シキトキハ市長抽籤シテ失職者ヲ定ム

7 市長市參與又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ市會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス
第十九條 市會議員ハ名譽職トス

- 2 議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス
- 3 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ每級各別ニ市長抽籤シテ之ヲ定ム選舉區アル場合ニ於テハ第十六條ノ市條例中ニ其ノ解任ヲ要スル者ノ選舉區及等級ヲ規定シ市長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ但シ解任ヲ要スル選舉區及等級ニ闕員アルトキハ其ノ闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ
- 4 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス
- 5 選舉區又ハ其ノ配當議員數ノ變更アリタル場合ニ於テ之ニ關シ必要ナル事項ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ
- 第二十條 市會議員中闕員ヲ生シ其ノ闕員議員定數ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ府縣知事市長若ハ市會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フヘシ
- 2 議員闕員ト爲リタルトキ其ノ議員カ第三十條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合又ハ本條本項若ハ第三十三條ノ規定ニ依ル第三十條第二項ノ

- 規定ノ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ市長ハ直ニ第三十條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル他ノ得票ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第二項ノ規定ヲ準用ス(大正十年四月法律第五十八號ニテ追加)
- 3 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス
- 4 補闕議員ハ前任者ノ選舉セラレタル等級及選舉區ニ於テ之ヲ選舉スヘシ
- 第二十一條 市長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區アルトキハ選舉區毎ニ名簿ヲ調製スヘシ
- 2 第六條ノ市ニ於テハ市長ハ區長ヲシテ前項ノ名簿ヲ調製セシムヘシ
- 3 市長ハ選舉期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄市役所第六條ノ市ニ於テハ區役所又ハ告示シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間内ニ之ヲ市長第六條ノ市ニ於テハ區長ヲ經テニ申立ツルコトヲ得此場合ニ於テハ市長ハ縦覽期間滿了後三日以内ニ市會ノ決定ニ付スヘシ市

- 會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ
- 4 前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 - 5 第三項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
 - 6 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
 - 7 前四項ノ場合ニ於テハ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ市長ハ其ノ確定期日前ニ修正ヲ加ヘ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ修正セシムヘシ
 - 8 選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス
 - 9 確定名簿ハ第三條又ハ第四條ノ處分アリタル場合ニ於テ府縣知事ノ指定スルモノヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用ウ選舉區アル場合ニ於テハ各選舉區ニ涉リ同時ニ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内

- ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用キ一部ノ選舉區限リ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内ニ該選舉區ニ於テノミ行フ選舉ニ之ヲ用ウ但シ名簿確定後裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選舉期日前四日迄ニ之ヲ修正スヘシ
- 10 選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ市長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示シ第六條ノ市ニ於テニハ區長ヲシテ之ヲ告示セシムヘシ
 - 11 選舉分會ヲ設クルトキハ市長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ調製セシムヘシ
 - 12 確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラレヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス
 - 13 前項但書ノ選舉人ハ等級ノ標準タル直接市税ニ依リ其ノ者ノ納額ニシテ名簿ニ登録セラレタル一級選舉人中ノ最少額ヨリ多キトキハ一級ニ於テ其ノ他ハ二級ニ於

テ選舉ヲ行フヘシ(大正十年四月法律
第五十八號改正)

14 確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

15 第三項乃至第六項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製、縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

16 選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用キ縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第二十二條 市長ハ選舉期日前少クトモ七日間選舉會場、投票ノ日時及各級ヨリ選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ選舉區アル場合ニ於テハ各級ヨリ選舉スヘキ議員數ヲ選舉區毎ニ分別シ選舉分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ等級及區劃ヲ告示

スヘシ

2 各選舉區ノ選舉ハ同日時ニ之ヲ行ヒ選舉分會ノ選舉ハ本會ト同日時ニ之ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ同日時ニ選舉ヲ行フコト能ハサルトキハ市長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル選舉會又ハ選舉分會ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ

3 選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ選舉ヲ行フコト能ハサルニ至リタルトキハ市長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル等級ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ(大正十年四月法律
第五十八號改正)

第二十三條 市長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

2 各選舉區ノ選舉會ハ市長又ハ其ノ指名シタル吏員第六條ノ市ニ
於テハ區長 選舉長ト爲リ之ヲ開

閉シ其ノ取締ニ任ス

3 選舉分會ハ市長ノ指名シタル吏員選舉分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

4 市長第六條ノ市ニ
於テハ區長ハ選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ但シ選舉

區アルトキ又ハ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各別ニ選舉立會人ヲ設クヘシ
 5 選舉立會人ハ名譽職トス

第二十四條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ
 從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラ
 ス

2 選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲
 シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ分會長ハ之ヲ制止シ命ニ
 從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

3 前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選
 舉長又ハ分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムル
 ヲ妨ケス

第二十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ
 2 投票ハ一人一票ニ限ル

3 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ
 對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

4 投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ
 得

5 選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘ
 シ但シ確定名簿ニ登録セラレタル毎級選舉人ノ數其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨ
 リ少キ場合ニ於テハ連名投票ノ法ヲ用ウヘシ

6 自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

7 投票用紙ハ市長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

8 選舉區アル場合ニ於テ選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬ニ異動ヲ生スルコトアル
 モ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

9 選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ分會長少クトモ一人ノ選舉立會人ト共ニ投票函ノ
 儘之ヲ本會ニ送致スヘシ

第二十六條 第三十三條若ハ第三十七條ノ選舉、増員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行
フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ
(第二十七條 削除)

第二十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
 - 二 現ニ市會議員ノ職ニ存ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
 - 五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ
- 2 連名投票ノ方法ヲ用キタル場合ニ於テハ前項第一號第六號及第七號ニ該當スルモノ

ノ並其記載ノ人員選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ之ヲ無効トシ前項第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其部分ノミヲ無効トス(大正十年四月法律第五十八號改正)

第二十九條 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

2 選舉分會ニ於ケル投票ノ拒否ハ其ノ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ分會長之ヲ決スヘシ

第三十條 市會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ各級ニ於テ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

2 前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第三十一條 選舉長又ハ分會長ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉又ハ投票ノ顛末ヲ記載シ選舉又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

2 各選舉區ノ選舉長ハ選舉錄第六條ノ市ニ於テハ其ノ謄本ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ市長ニ報告スヘシ

3 選舉分會長ハ投票函ト同時ニ選舉錄ヲ本會ニ送致スヘシ

4 選舉錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第三十二條 當選者定マリタルトキハ市長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告知セシムヘシ

2 當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツヘシ

3 一人ニシテ數級又ハ數選舉區ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ニ應スヘキカヲ市長ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサルトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム

4 第十八條第二項ニ掲ケサル官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ

非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

5 前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ市長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス第三項ノ場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキカヲ申立テサルトキハ總テ之ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十三條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、數級若ハ數選舉區ニ於テ當選シタル場合

ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ級若ハ選舉區ノ當選ニ應シ若ハ抽籤ニ依リ一ノ級若ハ選舉區ノ當選者ト定マリタル爲他ノ級若ハ選舉區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ其ノ當選者第三十條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ第二十條第二項ノ例ニ依ル

2 當選者選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ其ノ前ニ其ノ者ニ關スル補闕選舉若ハ前項ノ選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ更ニ選舉ヲ

行フコトナクシテ當選者ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第三十四條 選舉ヲ終リタルトキハ市長ハ直ニ選舉録ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十二條 第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ市長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十五條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十六條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十四條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ七日以内ニ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

- 2 前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得
- 3 府縣知事ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ第三十四條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得
- 4 前項ノ決定アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及市會ノ決定ハ無効トス
- 5 第二項若ハ第六項ノ裁判又ハ第三項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 6 第一項ノ決定ニ付テハ市長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得
- 7 第二項若ハ前項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 8 第二十條、第三十三條又ハ第三十七條第三項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス

9 市會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十七條 當選無効ト確定シタルトキハ市長ハ直ニ第三十條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムヘシ

2 選舉無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

3 議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十八條 市會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無ハ市會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外市會之ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ宣告確定シタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

2 市長ハ市會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

3 第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

4 第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

5 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

6 第三十六條第九項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス(大正十年四月法律第五十八號改正)

7 第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十九條 第二十一條及第三十六條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、市會ノ決定ハ市長直ニ之ヲ告示スヘシ

第四十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第三章 市參事會

第一款 組織及選舉

第六十四條 市ニ市參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 市長

二 助役

三 名譽職參事會員

² 前項ノ外市參與ヲ置ク市ニ於テハ市參與ハ參事會員トシテ其ノ擔任事業ニ關スル場合ニ限り會議ニ列席シ議事ニ參與ス

第六十五條 名譽職參事會員ノ定數ハ六人トス但シ第六條ノ市ニ在リテハ市條例ヲ以テ十二人迄之ヲ增加スルコトヲ得

² 名譽職參事會員ハ市會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ其ノ選舉ニ關シテハ第二十五條第二十八條及第三十條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決定ス

³ 名譽職參事會員中闕員アルトキハ直ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

⁴ 名譽職參事會員ノ任期ハ市會議員ノ任期ニ依ル但シ市會議員ノ任期滿了ノ場合ニ於テハ後任名譽職參事會員選舉ノ日迄在任ス

第六十一條 市參事會ハ市長ヲ以テ議長トス市長故障アルトキハ市長代理者之ヲ代理ス

●町村制

(明治四十四年四月七日法律第六十九號
大正十年四月十一日法律第五十九號改正)

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

2 議員ノ定數左ノ如シ

- 一 人口千五百未滿ノ町村 八人
- 二 人口千五百以上五千未滿ノ町村 十二人
- 三 人口五千以上一萬未滿ノ町村 十八人
- 四 人口一萬以上二萬未滿ノ町村 二十四人
- 五 人口二萬以上ノ町村 三十人

3 議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

4 議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減ア

リタル場合ニ於テ内務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

八二

第十二條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

(第二項乃至第五項削除)

第十三條 町村ハ町村條例ヲ以テ選舉人ヲ分チテ二級ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市制ノ例ニ依ル

第十四條 特別ノ事情アルトキハ町村ハ郡長ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ選舉分會ヲ設クルコトヲ得

第十五條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス

- 左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經過セサル者亦同シ
- 一 所屬府縣郡ノ官吏及有給吏員
 - 二 其ノ町村ノ有給吏員
 - 三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

3 町村ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員及支配人ハ被選舉權ヲ有セス

4 前項ノ役員トハ取締役、監查役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

5 父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキハ年長者ヲ當選者トシ年齢同シキトキハ町村長抽籤シテ當籤者ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉セラレタル者議員タルコトヲ得ス

6 議員ト爲リタル後前項ノ緣故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其ノ職ヲ失フ年齢同シキトキハ町村長抽籤シテ失職者ヲ定ム

7 町村長又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第十六條 町村會議員ハ名譽職トス

八三

- 2 議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス
- 3 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲メ解任ヲ要スル者アルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム闕員アルトキハ其ノ闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ
- 4 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十七條

町村會議員中闕員ヲ生シ其ノ闕員議員定數ノ三分ノ一以上ニ至リタルト

- キ又ハ郡長町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フヘシ
- 2 議員闕員ト爲リタルトキ其ノ議員カ第二十七條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合又ハ本條本項若ハ第三十條ノ規定ニ依ル第二十七條第二項ノ規定ノ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ町村長ハ直ニ第二十七條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第二項ノ規定ヲ準用ス
- 3 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十八條

町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ

記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシ

- 2 町村長ハ選舉期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄町村役場又ハ告示シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ縦覽期間滿了後三日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ
- 3 前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 4 第二項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 5 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 6 前四項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要

- スルトキハ町村長ハ其ノ確定期日前ニ修正ヲ加フヘシ
- 7 選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス
- 8 確定名簿ハ第三條ノ處分アリタル場合ニ於テ府縣知事ノ指定スルモノヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用ウ但シ名簿確定後裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選舉期日前四日迄ニ之ヲ修正スヘシ
- 9 選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ
- 10 選舉分會ヲ設クルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ
- 11 確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セララルヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 12 確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス

但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

- 13 第二項乃至第五項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製、縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ郡長ノ定ムル所ニ依ル名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

- 14 選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用キ縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス
- 第十九條** 町村長ハ選舉期日前少クトモ七日間選舉會場、投票ノ日時及選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ選舉分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スヘシ
- 2 選舉分會ノ選舉ハ本會ト同日時ニ之ヲ行フヘシ
- 3 天災事變等ニ依リ選舉ヲ行フコト能ハサルニ至リタルトキハ町村長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル選舉會又ハ選舉分會ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ

- 第二十條 町村長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス
- 2 選舉分會ハ町村長ノ指名シタル吏員選舉分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス
- 3 町村長ハ選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ但シ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各別ニ選舉立會人ヲ設クヘシ
- 4 選舉立會人ハ名譽職トス

- 第二十一條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス
- 2 選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ
- 3 前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲナサシムルヲ妨ケス

第二十二條 選舉ハ無名投票ヲ以テ行フ

- 2 投票ハ一人一票ニ限ル
- 3 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ
- 4 投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得
- 5 選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ
- 6 自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス
- 7 投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ
- 8 選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ分會長少クトモ一人ノ選舉立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ本會ニ送致スヘシ

第二十三條 第三十條若ハ第三十四條ノ選舉、増員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ

場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

(第二十四條 削除)

第二十五條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
- 二 現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

(第二項削除)

第二十六條 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長

之ヲ決スヘシ

選舉分會ニ於ケル投票ノ拒否ハ其ノ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ分會長之ヲ決スヘシ

第二十七條

町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但

シ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數

ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス(大正十年四月法律第五十九號ヲ以テ改正)

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第二十八條

選舉長又ハ分會長ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉又ハ投票ノ顛末ヲ記載シ選

舉又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉分會長ハ投票函ト同時ニ選舉錄ヲ本會ニ送致スヘシ

選舉錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第二十九條 當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ
2 當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町
村長ニ申立ツヘシ

3 第十五條第二項ニ掲ケサル官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ
非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

4 前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ町村長
ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選舉ニ關スル犯罪ニ依
リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ其ノ當選
者第二十七條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ト依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ
於テハ第十七條第二項ノ例ニ依ル

2 當選者選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ其ノ者
ニ關スル補闕選舉若ハ前項ノ選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ更ニ選舉ヲ行フコト

ナクシテ當選者ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第三十一條 選舉ヲ終リタルトキハ町村長ハ直ニ選舉錄ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ報
告スヘシ

2 第二十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項ノ申立アリタルトキハ
町村長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第三十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞
アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十三條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉
ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長
ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ七日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘ
シ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

2 前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

3 郡長ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣知事ノ指揮ヲ受ケ選舉ニ關

シテハ第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ處分スルコトヲ得

4 前項ノ處分アリタリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村會ノ決定ハ無効トス

5 第三項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第二項若ハ第六項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

6 第一項ノ決定及第二項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

7 第二項第五項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

8 第十七條、第三十條又ハ第三十四條第三項ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス

9 町村會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル處分、決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ

會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十四條 當選無効ト確定シタルトキハ町村長ハ直ニ第二十七條ノ例ニ依リ更ニ

當選者ヲ定ムヘシ

2 選舉無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

3 議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十五條 町村會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權

ノ有無ハ町村會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外町村會之ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ宣告確定シタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

- 2 町村長ハ町村會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ
- 3 第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 4 第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 5 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 6 第三十三條第九項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス(大正十年四月法律第五十九號改正)
- 7 第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ
- 第三十六條 第十八條及第三十三條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、郡會ノ處分ハ郡長、町村會ノ決定ハ町村長直ニ之ヲ告示スヘシ
- 第三十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

(第二項削除)

第三十八條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ郡長ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ町村ヲシテ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充テシムルコトヲ得

2 町村總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

大正十二年六月二十五日印刷
大正十二年六月二十八日發行

(定價金七十錢)

發行者

朝陽會長
池田敬八

印刷者

東京印刷株式會社
東京市日本橋區兜町二番地

發賣所

朝陽會
東京市麴町區大手町二丁目二番地
印刷局內
振替口座東京四三六〇五番